

科目番号	2101	科目名	倫理学	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	成田清文
課程	卒業必修	栄養士		保育士		医療	医療	ビジネス	ビジネス	フードサイエント	実務経験
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 現代社会における様々な問題について、倫理的に考え、自ら判断できるようにする。</p> <p>テーマ 現代社会の直面する様々な倫理的課題・世界や日本の様々な思想や宗教を通して、どのように生きるべきかを考える。</p>										
授業の概要	<p>生命・環境・性役割などの現代社会の様々な問題を倫理的な側面から考える。 世界の様々な思想・哲学・宗教と、古代から現代に至る日本の思想・宗教を通して、日本人の倫理観を考える。</p>										
回	授 業 計 画									自主学習（授業前・授業後）	
1	オリエンテーション・倫理とは 授業で扱う現代の倫理的課題・世界の思想と宗教・日本の思想と宗教の概略を知ることにより、倫理とは何かについて考える。										
2	生命倫理について 臓器移植・脳死・尊厳死・安楽死・インフォームドコンセントなどを理解することを通して、現在の医療における倫理について考える。									予習プリントを読む（授業前）	
3	環境倫理について 公害問題から世界規模の環境問題、特に温暖化問題への取り組みなどの学習を通して、環境倫理について考える。									予習プリントを読む（授業前）	
4	家族・性役割・ジェンダーについて 現代の家族・社会のあり方を、男女の性役割やジェンダーという視点、また性同一性障害や同性婚などを通して考える。									予習プリントを読む（授業前）	
5	情報社会と倫理について 情報技術の発達によって出現した高度情報社会における諸問題について、モラル・リテラシー・プライバシーなどの視点から考える。									予習プリントを読む（授業前）	
6	異文化理解と倫理について グローバル化が進む世界の中でどのように生きていくべきか、ナショナリズム・エスノセントリズム・多文化主義などについて学習することによって考える。									予習プリントを読む（授業前）	
7	青年期について 子どもから大人への過渡期である青年期について、アイデンティティ・発達段階・適応などの概念、あるいはフロイトの精神分析学の学習を通して考える。									予習プリントを読む（授業前）	
8	古代ギリシャ思想について ギリシャ神話とソクラテス・プラトン・アリストテレスの哲学を学習することによって、古代ギリシャ思想の意義について考える。									予習プリントを読む（授業前）	
9	ユダヤ教・キリスト教・イスラームについて 欧米文化のバックボーンとなっているキリスト教とその母胎であるユダヤ教、さらにそれらの影響を受けて成立したイスラームについて考える。									予習プリントを読む（授業前）	
10	仏教について 仏教の開祖ブッダの思想とその後の仏教思想の展開について学ぶことを通して、現代の日本人につながるその思想の本質について考える。									予習プリントを読む（授業前）	
11	中国思想について 現在もなお私たち日本人の道徳観に影響を持つ中国思想について、儒家と道家の比較を通してその特質を考える。									予習プリントを読む（授業前）	
12	日本思想について(1) 古代から中世の日本思想の特質について、最澄や空海、そして鎌倉期の道元・親鸞・日蓮の思想を学ぶことによる。									予習プリントを読む（授業前）	
13	日本思想について(2) 近世から近代の日本思想の特質について、江戸期の儒学者と明治期の思想家の学習を通して考える。									予習プリントを読む（授業前）	
14	近代思想について ルネサンスから19世紀までの西洋近代思想・哲学から何人かの人物を取り上げ、その時代への影響について考える。									予習プリントを読む（授業前）	
15	現代思想について 20世紀以降の西洋思想・哲学から何人かの人物を取り上げ学習することによって、現代の思想的課題について考える。									予習プリントを読む（授業前）	
テキスト											
参考書・資料等		毎回、プリント資料を配布									
評価方法		提出したレポートによって評価する									
履修上の注意等											

科目番号	1103	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	福士純子		
科目名	国語表現										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	到達目標 正しい言語表現のあり方を理解し、一般社会人としての確で簡明な表現能力を見につける。 テーマ 書くこと・話すことの実践的表現能力を高める。										
授業の概要	日常的で使用される実務的実用的な言語の表現をベースとし、国語の基礎知識の確認と応用力を養うための実践的問題演習を行う。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	受講受理（授業計画） 国語の定義、保育者と表現力、概論の授業方法と計画・内容について解説する。										
2	表現ということ。心を豊かに表現するために覚えておくべきこと。										
3	スムーズな人間関係を築くための言語表現。気配りの表現。							プリント提出			
4	書くということ。書くための準備。（テーマ、材料集め、構成）										
5	書くための基礎知識(1) 表記のきまり。(現代仮名遣い、送り仮名、漢字と仮名の使い分け、数字の表記、読点の打ち方、記号類の使い方、原稿用紙の使い方。)について学習。										
6	書くための基礎知識(2) 表記のきまり。(現代仮名遣い、送り仮名、漢字と仮名の使い分け、数字の表記、読点の打ち方、記号類の使い方、原稿用紙の使い方。)についての演習。							プリント提出			
7	書くための基礎知識(3) 書き方の工夫。(文字、漢字、話言葉と書き言葉、略語と外来語、語句の重複、文末表現、常体と敬体、接続助詞、文の長さ。)について学習。										
8	書くための基礎知識(4) 書き方の工夫。(文字、漢字、話言葉と書き言葉、略語と外来語、語句の重複、文末表現、常体と敬体、接続助詞、文の長さ。)についての演習。							プリント提出			
9	実用文を書く(1) 書簡文についての演習。										
10	実用文を書く(2) 履歴書についての演習。										
11	実用文を書く(3) 小論文の書き方を学び、取り組む。										
12	実用文を書く(4) 小論文の書き方を学び、取り組む。							レポート提出			
13	実用文を書く(5) 書くことについての演習。										
14	話すための基礎知識(1) 話し方の工夫、ポイント。聞かときの心構え、ポイント。										
15	話すための基礎知識(2) さまざまな場面の話し方。演習。										
テキスト	『表現のエチュード』 学術図書出版社										
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。										
評価方法	学習意欲(20%)、レポート(30%)、筆記試験(50%)等で総合的に判断する。										
履修上の注意等	事前に指示された事項はきちんと調べて受講すること。提出物は日程厳守のこと。										

科目番号	2104	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	兼平拓道		
科目名	法学										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター				
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 法的なものの考え方を身に付け、社会問題について、様々なアプローチで考え、自分なりに法的解釈をできるようにすること。</p> <p>テーマ 法的なものの考え方、論理的思考力を身に付ける。</p>										
授業の概要	<p>一般的な日本国民の生活に最も関係の深い日本国憲法を皮切りに、さまざまな法律をピックアップして展開する。また、資本主義社会を生きるうえで大切なビジネス法務をも含み現代社会に対応した法律学習を行う。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	憲法	憲法とは何か。									
2	憲法	国民主権									
3	憲法	平和主義									
4	憲法	基本的人権の尊重									
5	刑法	刑法とは何か									
6	刑法	犯罪成立要件									
7	刑法	犯罪の成立範囲									
8	刑法	個人に対する犯罪									
9	刑法	社会と国家に対する犯罪									
10	ビジネス法務	契約法									
11	ビジネス法務	不当利得 不法行為									
12	ビジネス法務	法人と会社									
13	ビジネス法務	債権の管理と方法									
14	ビジネス法務	労働法									
15	ビジネス法務	親族法 相続法									
テキスト	なし										
参考書・資料等	『日本経済新聞』（日本経済新聞社）『週刊東洋経済』（東洋経済新報社） 『週刊ダイヤモンド』（ダイヤモンド社）[いずれも東北女子短期大学 図書館に常備]										
評価方法	期末テスト70%、提出レポート30%の割合で総合評価する。 試験は定期試験期間内に実施する										
履修上の注意等	日頃から、新聞やテレビなどの法律ニュースに目を通しておくこと。										

授業前と授業後には、新聞や雑誌などの法律記事を読み、知識の定着を図る。

科目番号	2105	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	兼平拓道		
科目名	経済学										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 グローバル経済の大きな潮流が家庭生活にどのような影響を与えるのかを分析し、将来への見通しを的確に立てられる能力を身に付ける。</p> <p>テーマ 私たちを取り巻く経済環境は時々刻々と変化している。そこでこの講義では、「今、何が起きているのか」をテーマに、経済学の基礎的な理解を深める。</p>										
授業の概要	経済学の基本的知識である価格、インフレとデフレ、金利、株式、財政、為替、貿易などをわかりやすく解説する。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	経済学とは何か 経済学が、日常生活にどのように関わってくるのかについて考える。							授業前と授業後には、新聞や雑誌などの経済記事を読み、知識の定着を図る。			
2	モノの値段はどう決まるのか 経済的基礎条件の分析に必要とされる、マーケットメカニズムを学ぶ。										
3	好況や不況はどう決まるのか インフレとデフレの仕組みについて学び、それぞれのメリットとデメリットを理解する。										
4	景気変動はなぜ生じるのか 大戦後の経済史をふり返りながら、景気変動の仕組みについて学ぶ。										
5	金融とは何か 金融市場における銀行の役割と企業の資金調達について学ぶ。										
6	金利はどう決まるのか 金融市場における金利決定メカニズムの仕組みを学び、金利上昇局面と金利低下局面の経済動向について決定する。										
7	日銀は何をしているのか 日本銀行の仕組みを学び、金融政策が経済に与える影響を分析する。										
8	株の仕組みはどうなっているのか 株式のインカムゲインとキャピタルゲインの考え方を学ぶ。										
9	政府と経済とはどんな関係があるのか 政府の財政政策が、経済の重要な調整機能となっていることを学ぶ。										
10	日本の財政と年金はどうなっているのか 日本の財政危機と年金危機について、小泉構造改革を例に検討する。										
11	為替とは何か 円高と円安の仕組みを学び、我々の日常生活と関連づけて考える。										
12	TPPとは何か 自由貿易協定の仕組みを学び、TPP加盟後の経済成長を展望する。										
13	バブル経済とは何か バブル経済について、クレジット・クランチに焦点をあてて分析する。										
14	アベノミクスとは何か アベノミクスの仕組みを学び、今後の日本経済を展望する。										
15	まとめ 経済学の基本的知識と課題を総括する。										
テキスト	なし										
参考書・資料等	『日本経済新聞』（日本経済新聞社）『週刊東洋経済』（東洋経済新報社） 『週刊ダイヤモンド』（ダイヤモンド社）[いずれも東北女子短期大学 図書館に常備]										
評価方法	期末テスト70%、提出レポート30%の割合で総合評価する。 試験は定期試験期間内に実施する										
履修上の注意等	日頃から、新聞やテレビなどの経済ニュースに目を通しておくこと。										

科目番号	2107	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	柳町 悟司		
科目名	生物学										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンテイス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 新聞やニュース等で取り上げられる生物学のテーマを理解できるようになる。</p> <p>テーマ 生命の誕生, 遺伝子, 生物の進化といった話題を通じて生物(特に人類)に関する知識を学ぶ。</p>										
授業の概要	新聞やニュースの記事で扱われる生物学のテーマを通して人類を含む生物に関する知識を深める。										
回	授 業 計 画							自主学習 (授業前・授業後)			
1	ガイダンス:授業の進め方に関する説明							授業後: 配布資料の復習			
2	生命の誕生:地球上の生物はどのように誕生したのか							授業後: 配布資料の復習			
3	生命の進化:生物の進化,現在の状況(生物多様性,食物連鎖)							授業後: 配布資料の復習			
4	人類の進化 :人類の誕生							授業後: 配布資料の復習			
5	人類の進化 :人類が他の動物と異なる点							授業後: 配布資料の復習			
6	人類の進化 :人類誕生から現代までの進化							授業後: 配布資料の復習			
7	人類の進化 :日本人のルーツ							授業後: 配布資料の復習			
8	遺伝子 :遺伝子の役割(複製,転写,翻訳)							授業後: 配布資料の復習			
9	遺伝子 :遺伝子の役割(遺伝子が体質・性格に及ぼす影響)							授業後: 配布資料の復習			
10	遺伝子 :遺伝子の役割(ジャンクDNA, 遺伝子のスイッチ)							授業後: 配布資料の復習			
11	医学への応用:幹細胞(ES細胞,iPS細胞等)を利用した再生医学							授業後: 配布資料の復習			
12	腸内細菌:腸内細菌が宿主に及ぼす影響							授業後: 配布資料の復習			
13	脳:脳の役割,脳死,性格について							授業後: 配布資料の復習			
14	データの解釈:有効数字等、数字の解釈方法について							授業後: 配布資料の復習			
15	まとめ:これまで学んだテーマを振り返り、筆記試験対策のポイントを説明する							授業後: 配布資料の復習			
テキスト	使用しない(自作のプリントを授業時に配布し使用する)										
参考書・資料等	羊土社 文系のための生命科学 ほか										
評価方法	試験期間に行う筆記試験(80%)と課題(レポート)(20%)の結果で評価する										
履修上の注意等	高校時の生物学を基礎とした内容ばかりではないが、理解するように努めてほしい										

科目番号	2108	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	宮野 洋子		
科目名	キャリア基礎										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 社会人として必須となる心構えやビジネスコミュニケーション、ビジネス上の常識を理解する。</p> <p>テーマ 人生のキャリアづくりを考える。</p>										
授業の概要	テキストや視聴覚教材を活用し、社会人として生きていくための基礎知識を学習し、ビジネス現場で経験のあるゲストスピーカーを招きながら、多面的に理解を進めていく学修プログラム。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	オリエンテーション キャリアとは何か？										
2	今までの自分を振り返ろう							課題の提出			
3	自分の強みを知る							課題の提出			
4	自己紹介文を書く							課題の提出			
5	自分の価値観を知る							課題の提出			
6	なりたい自分を探す							課題の提出			
7	キャンパスライフデザイン 学校生活の目標を確認してみる							課題の提出			
8	社会人として働くとはどんなことなのか（外部講師）							課題の提出			
9	就職活動のアプローチと求人票の見方							課題の提出			
10	履歴書の基本							課題の提出			
11	自己PRの基本							課題の提出			
12	志望動機の基本							課題の提出			
13	志望動機の基本							課題の提出			
14	小論文と作文の書き方							小論文と作文（小テスト）に備える			
15	小論文と作文（小テスト）										
テキスト	なし										
参考書・資料等	必要に応じて資料を用意する。										
評価方法	レポートの提出（70%） 小テスト（30%）										
履修上の注意等	社会に広く目を向けながら、受講すること。										

科目番号	1109	単位	1	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	宮野 洋子		
科目名	津軽を探る										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 弘前を中心とした津軽地域の特色を知り、そこから地域の問題について自ら考える事ができるようになる。</p> <p>テーマ 津軽の歴史・地理・文化・観光・産業・農業等に、主体的・能動的に係わり、理解する。</p>										
授業の概要	弘前を中心とした津軽について、各方面の専門家をゲストスピーカーとしてオムニバスで招き、知見を広める。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	オリエンテーション：この講義の意義（「津軽を探る」とは）										
2	津軽の歴史と地理：津軽地域の歴史的背景や成り立ちを解説する。										
3	弘前の伝統工芸：津軽塗、こぎん刺し、ブナコ、あけび蔓細工など津軽の伝統工芸について解説する。							レポート提出 ゲストスピーカー			
4	津軽の自然：世界遺産である白神山地等を有する津軽地域の自然について解説する。							ゲストスピーカー レポート提出			
5	弘前の言葉（津軽弁）：津軽の言葉（津軽弁）について理解を深める。							ゲストスピーカー レポート提出			
6	津軽と文学：太宰治・寺山修司・葛西善蔵など、津軽文学者の作品と特徴を解説する。							ゲストスピーカー レポート提出			
7	津軽の自然：津軽を象徴する山であり、津軽富士と呼ばれる岩木山について解説する。							ゲストスピーカー レポート提出			
8	津軽と音楽：津軽民謡、昔っこ（昔話）などについて解説する。							ゲストスピーカー レポート提出			
9	津軽の温泉文化：弘前の温泉について解説する。							ゲストスピーカー（学内） レポート提出			
10	津軽の食材と食文化：津軽の食材と食文化について解説する。							ゲストスピーカー（学内） レポート提出			
11	津軽の楽器：津軽の伝統楽器「津軽三味線」について解説する。							ゲストスピーカー レポート提出			
12	弘前の建築：弘前の伝統的建築物について解説する。										
13	弘前の観光と物産：観光都市である弘前の四大まつりについて解説する。							ゲストスピーカー レポート提出			
14	弘前の観光と物産：観光都市である弘前の四大まつりについて解説する。							ゲストスピーカー レポート提出			
15	総括：これまでの内容を踏まえて総合的に弘前を理解する（津軽の魅力を語る）。							レポート提出			
テキスト	特に使用しない。										
参考書・資料等	特に使用しない。図書館等で関連図書を参考にしていきたい。										
評価方法	レポート提出等100%										
履修上の注意等	常に学ぶ姿勢を忘れず、積極的に質問する姿勢を求める。										

科目番号	2110	単位	1	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	島内智秋		
科目名	暮らしと学び										
課程	卒業必修	○	栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 暮らしや学びに必要な情報提供や各回のテーマについて学び、調べたり深く考えたりする楽しさを知る。教育理念「教育即生活」について主体的にアプローチする。</p> <p>テーマ 教育理念「教育即生活」をもとにした暮らしの中の学び</p>										
授業の概要	暮らしや学びに必要な情報について学び、調べたり考えたりする。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	オリエンテーション 短大で学ぶことについて							『学生便覧』を持参すること			
2	教育即生活について							『柴田やす伝』を持参すること			
3	進路の決定と偶然の計画について										
4	情報社会に着目した暮らしと学び										
5	女性の品格を考える										
6	大人になること、社会に出ることを考える										
7	暮らしの中の所作の意味を考える										
8	家族に関する暮らしと学び（結婚を考える）										
9	家族に関する暮らしと学び（子育てについて考える）										
10	家族に関する暮らしと学び（子ども観・仕事・食・住まいについて考える）										
11	家族に関する暮らしと学び（生活習慣・生活リズムについて考える）										
12	生命の繋がりについて（ヒト・動物・植物など）										
13	日本人の暮らしの変化について考える										
14	校訓から見える暮らしと学び										
15	暮らしと学びのまとめ レポート作成										
テキスト	特に使用しない										
参考書・資料等	『柴田やす伝』 他、各テーマごとに書籍の紹介をする										
評価方法	提出されたレポート（70%）・自主学習（30%）により評価する。										
履修上の注意等	毎回の予習・復習カードの提出をすること。講義から興味を持ったことを更に調べたり考えたりすること。										

科目番号	2111	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	宮野 洋子		
科目名	現代作法学										
課程	卒業必修	○	栄養士		医療		ビジネス		フードライ エンティス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 日本文化としての礼儀作法について、成り立ちと意味を理解する。そして作法(マナー)の実際を学ぶ。学んだ作法は日常生活に活かしながら身につける。</p> <p>テーマ 社会的な礼儀作法のありかた</p>										
授業の概要	<p>学生・社会人として身につけることが望まれる基本マナー、訪問と対応のマナー、言葉づかいと人間関係のマナー、手紙・ビジネス文書のマナー、食事のマナー、冠婚葬祭のマナー等から学ぶ。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習 (授業前・授業後)			
1	オリエンテーション 現代作法学を学ぶことの意義並びに礼儀作法について挨拶について										
2	基本マナー ~立ち居振る舞いの基本~ お辞儀の基本・服装・身だしなみ										
3	基本マナー ~立ち居振る舞いの基本~ 対応の基本姿勢、物の持ち方・渡し方							小テストに備える			
4	小テスト 基本マナー ~講義を受ける姿勢~ グループワーク										
5	言葉づかいと人間関係 ~コミュニケーションと言葉~										
6	社会人としての基本マナー ~職場のルールとマナー~ 職場の基本ルール、職場の仕組みと仕事の進め方のルール、身だしなみについて							小テストに備える			
7	社会人としての基本マナー ~訪問時のマナー~ 小テスト										
8	社会人としての基本マナー ~来客対応~ 来客対応の心得、受付の仕方、取り次ぎの仕方、案内の仕方										
9	社会人としての基本マナー ~来客対応~ 緑茶の種類と入れ方・出し方、緑茶以外の飲み物緑茶の種類と入れ方・出し方の実際他										
10	社会人としての基本マナー ~席次のマナー~ 席次の考え方、応接室の席次、会議室の席次、乗り物の席次							小テストに備える			
11	小テスト 電話対応 電話対応の心構え、電話対応のマナー(かけ方・受け方)、その他の通信機器										
12	手紙・ビジネス文書のマナー 郵便知識とビジネス用語										
13	手紙・ビジネス文書のマナー ハガキのマナー、手紙のマナー、メール・ビジネス文書のマナー							小テストに備える			
14	小テスト 食事のマナー ~T.P.Oに応じた食事のマナー~ 旅行のマナー ~旅行の際に心がけたい事柄~										
15	冠婚葬祭 ~慶弔贈答のマナー~							レポートの作成			
テキスト	『新生活教養 社会人としての基本マナー』 建帛社 近喰晴子・三村善美・工藤のぶ・渡辺雅子・小松由美										
参考書・資料等	上記教科書の内容及び関連資料を使用する。										
評価方法	小テスト70% レポート30%										
履修上の注意等	授業で学んだことを日常生活に活かすことができるように、意欲を持って受講すること。										

科目番号	2131	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	大瀬 恵理子			
科目名	英語(1)											
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験		
			保育士	○	幼稚園 教諭	○	ベビー シッター	○	食育インス トラクター			
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 保育現場で必要とされる基本的英語運用力および音読による表現力を習得する。</p> <p>テーマ 「保育園の1日の流れや1年の流れ」に即した様々な場面で想定される保育者と子ども・保護者間の対話や文書作成などの英語表現を学ぶ。</p>											
授業の概要	<p>保育園の具体的な場面を描く英文の読解、および対話・リスニング・ライティングなど練習問題を通して総合的な英語運用力を習得する。また保育現場で活用可能な英語の絵本や遊び歌を学ぶ。</p>											
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）				
1	オリエンテーション（テキストの内容を理解し、英語の遊び歌について知る）							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。				
2	Chapter 1 The School Year Begins (新学期・園の人々・園舎などに関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。				
3	Chapter 2 Arrival (登園・家族などに関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。				
4	Chapter 3 Playing in the Classroom (室内遊び、病気などに関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。				
5	Chapter 4 In the Sandbox (外遊び、遊具などに関わる英語表現を習得する)							単語ミニテスト (Chapter 1～3)		音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。		
6	Chapter 5 In the Playground (けんか・集団遊びに関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。				
7	Chapter 6 Lunchtime (昼食・献立表の書き方に関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。				
8	Chapter 7 Changing Clothes and Story Time (衣類・持ち物に関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。				
9	Chapter 8 Nap Time (トイレ・お昼寝などに関わる英語表現を習得する)							単語ミニテスト (Chapter 5～7)		音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。		
10	Let's sing English songs and read picture books! (英語の絵本や遊び歌の活用方法について学ぶ)							配布プリントの復習を行うこと。				
11	Chapter 9 Blowing Bubbles (病気・身体の名称などに関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。				
12	Chapter 10 A Sick Child (緊急連絡などに関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。				
13	前期の既習事項について確認・復習する。							英単語ミニテスト (Chapter 8～10)		配布プリントの復習を行うこと。		
14	Movies in the Children's Culture(1) (「才能教育」をテーマとした映画を鑑賞し、子どもの可能性について考える)							着眼点に添って、考えをまとめること。				
15	Movies in the Children's Culture(2) (映画鑑賞の着眼点に従ってレポートを作成する)							着眼点に添って、考えをまとめること。				
テキスト	『新・保育の英語』森田和子著（三修社）											
参考書・資料等	テキストに即した練習プリントや資料などを適宜作成して配布する。											
評価方法	定期試験を80%、単語ミニテストを10%、レポート課題を10%として総合評価を行う。試験は定期試験期間内に実施する。											
履修上の注意等	テキスト音声ダウンロードを利用した音読練習、内容概略の把握・練習問題などの予習および復習を欠かさぬこと。英和辞書（電子辞書もOK）を持参のこと。											

科目番号	2131	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	大瀬 恵理子		
科目名	英語(1)										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験	
			保育士	○	幼稚園 教諭	○	ベビー シッター	○	食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 保育現場で必要とされる基本的英語運用力および音読による表現力を習得する。</p> <p>テーマ 「保育園の1日の流れや1年の流れ」に即した様々な場面で想定される保育者と子ども・保護者間の対話や文書作成などの英語表現を学ぶ。</p>										
授業の概要	<p>保育園の具体的な場面を描く英文の読解、および対話・リスニング・ライティングなど練習問題を通して総合的な英語運用力を習得する。また保育現場で活用可能な英語の絵本や遊び歌を学ぶ。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	Chapter 11 Preparation for the Sports Day (行事の案内状、電話連絡に関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。			
2	Chapter 12 The Sports Day (運動会や競技動作に関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。			
3	Chapter 13 Going for a Walk (地図を利用した道案内に関わる英語表現を概観する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。			
4	Chapter 14 Discovering Autumn (1) (地図を利用した道案内に関わる英語表現を習得する)				単語ミニテスト (Chapter 11～13)			音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。			
5	Chapter 14 Discovering Autumn (2) (地図を利用した道案内に関わる英語応用表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。			
6	Chapter 15 Drawing & Letter Writing (礼状、ハガキなどの英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。			
7	Chapter 18 School Diary (連絡帳、乳児への接し方に関わる英語表現を習得する)				単語ミニテスト (Chapter 14～15)			音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。			
8	Let's sing English songs and read picture books (英語遊び歌と絵本の活用について学ぶ)							配布プリントの復習をすること。			
9	Chapter 16 A Snowy Day (工作手順などに関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。			
10	Movies in Christmas (1) (季節に関連した絵本と映画鑑賞を通して英語圏の文化を理解する)							着眼点に添って考えをまとめること。			
11	Movies in Christmas (2) (映画鑑賞の着眼点に従ってレポートを作成する)							着眼点に添って考えをまとめること。			
12	Chapter 17 Leaving for Home (日時に関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。			
13	Chapter 19 Bean-Throwing Day (1) (園行事に関わる英語表現を習得する)				単語ミニテスト (Chapter 16～18)			音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。			
14	Chapter 19 Bean-Throwing Day (2) (家庭調査に関わる英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。			
15	Chapter 20 With Thanks for a Wonderful School Year (園だよりの英語表現を習得する)							音読及び内容把握の予習、また配布プリントによる復習を行うこと。			
テキスト	『新・保育の英語』森田和子著(三修社)										
参考書・資料等	テキストに即した練習プリントや資料などを適宜作成して配布する。										
評価方法	定期試験を80%、単語ミニテストを10%、レポート課題を10%として総合評価を行う。試験は定期試験期間内に実施する。										
履修上の注意等	テキスト音声ダウンロードを利用した音読練習、内容概略の把握・練習問題などの予習および復習を欠かさぬこと。英和辞書(電子辞書もOK)を持参のこと。										

科目番号	2141	単位	1	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	佐藤睦子		
科目名	保健体育										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 個人および社会における心身の健康や安全について関心・理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。 テーマ 健康でこころ豊かな生涯を送るために、青年期に必要なことは何かを共に考える。</p>										
授業の概要	<p>身近にある健康問題を取り上げ、受講者自身がそれらに興味・関心を持ち、自ら考えることで、それぞれのライフスタイルに合う健康習慣及び運動習慣を探る。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	現代の生活における運動の必要性 健康とは							健康問題に関心に向け、自分なりの考えを持っておくこと。復習については、ノートを整理し内容を			
2	現代の生活における運動の必要性 肥満と疾病							健康問題に関心に向け、自分なりの考えを持っておくこと。復習については、ノートを整理し内容を			
3	現代の生活における運動の必要性 肥満のコントロール							健康問題に関心に向け、自分なりの考えを持っておくこと。復習については、ノートを整理し内容を			
4	現代の生活における運動の必要性 健康のための運動処方（筋力トレーニング）							健康問題に関心に向け、自分なりの考えを持っておくこと。復習については、ノートを整理し内容を			
5	現代の生活における運動の必要性 健康のための運動処方（有酸素性トレーニング）							健康問題に関心に向け、自分なりの考えを持っておくこと。復習については、ノートを整理し内容を			
6	現代の生活における運動の必要性 運動の効果							健康問題に関心に向け、自分なりの考えを持っておくこと。復習については、ノートを整理し内容を			
7	スポーツの多様化と社会的問題 スポーツにおける社会的問題について考える							健康問題に関心に向け、自分なりの考えを持っておくこと。復習については、ノートを整理し内容を			
8	スポーツの多様化と社会的問題 スポーツにおける倫理観について考える							健康問題に関心に向け、自分なりの考えを持っておくこと。復習については、ノートを整理し内容を			
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
テキスト	使用しない										
参考書・資料等	必要に応じ資料プリントを配付する										
評価方法	定期試験（80%）、他に講義において実施する確認小テスト（ミニレポート）（20%）とする。 試験は定期試験期間内に実施する										
履修上の注意等	積極的に自分の意見を述べたり、意欲的な参加を期待する。										

科目番号	2142	科目名	体育実技	単位	1	授業形態	実技	開講時期	1年前期	担当	佐藤睦子	
課程	卒業必修	栄養士		医療		ビジネス		フードサイエティスト		実務経験		
保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター						
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 生涯スポーツの観点に立ち、心身の状態や目的に合ったトレーニングを計画・実施できる知識を身につける。さまざまな身体運動を通し、自身の健康の保持増進と体力増強に努めるとともに、コミュニケーション能力や協調性を養う。</p> <p>テーマ 仲間とのかかわりの中で社会的態度の育成を図りながら、からだを動かすことの楽しさ、爽快感、達成感を体験し、健康の保持増進につながる生涯スポーツへの一助とする。</p>											
授業の概要	既習経験のある球技のうち、バレーボールを中心に一般に親しまれている運動種目の実践、およびアダブテッドスポーツの実践を通して、青年期における体力・運動能力の維持向上やスポーツ理解を図る。また、学外のプールで集中指導（水泳）を実施する。											
回	授 業 計 画								自主学習（授業前・授業後）			
1	オリエンテーション（授業の概要・計画、健康調査の実施）								個々の運動制限や配慮すべき事項について把握したため、事前に自分の既往症や気になることを伝えられるようにしておく。			
2	仲間づくり運動・体ほぐし運動 バレーボール 基礎技術の確認（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）								毎回の授業後、痛めた部位や違和感があるかなど、自身の身体の状態を把握するとともに、次回の目標を明確にしておく。			
3	バレーボール 基礎技術の習得（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）								"			
4	バレーボール 基礎技術の習得（トス、スパイク、サーブ） 簡易ゲーム								"			
5	バレーボール 基礎技術の習得（パス、トス、スパイク、サーブ、レシーブ、ブロック） リーグ戦								"			
6	バレーボール 応用技術の習得（サーブレシーブフォーメーション、シートレシーブ） リーグ戦								"			
7	バレーボール 応用技術の習得（コンビネーションプレー、カバリング） リーグ戦								"			
8	アダブテッドスポーツ ソフトバレーボール（ボールの扱い、パス、レシーブ、サーブ） 学生運営のリーグ戦								"			
9	アダブテッドスポーツ ソフトバレーボール（攻撃・守備のフォーメーションの工夫） 学生運営のリーグ戦								"			
10	アダブテッドスポーツ ソフトバレーボール（攻撃・守備のフォーメーションの工夫） 学生運営のリーグ戦								"			
11	水泳（水遊び、水中運動、泳法など）								水着を用意しておくこと。（水泳帽は学校より貸与する）			
12	アダブテッドスポーツ シットイングバレーボール（動きの確認、ルールの確認） 試しのゲーム								毎回の授業後、痛めた部位や違和感があるかなど、自身の身体の状態を把握するとともに、次回の目標を明確にしておく。			
13	アダブテッドスポーツ シットイングバレーボール（動きの工夫、ルールの工夫） 簡易ゲーム								"			
14	アダブテッドスポーツをつくる（グループワーク）								"			
15	アダブテッドスポーツ まとめ											
テキスト	使用しない											
参考書・資料等	必要に応じ資料を準備する											
評価方法	技術点（50点）、平常点（50点）とする。平常点については、安全面や衛生面を考慮し、運動に適した服装が身についているか、仲間とコミュニケーションをとり協調しているか、意欲・関心を持って取り組み、動きのコツを身につけようとしているか、の三つの観点から総合運動習慣の重要性を認識し、運動が苦手でも技術が未熟であっても、積極的かつ意欲的に取り組みを期待する。遅刻・欠席に関し、15分以上の遅刻は欠席とみなす。欠席した場合は、次回の授業までに必ず欠課届を提出済みであること。（体調の確認が必要であるため）											
履修上の注意等												

科目番号	2142	単位	1	授業形態	実技	開講時期	1年後期	担当	佐藤睦子		
科目名	体育実技										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 生涯スポーツの観点に立ち、心身の状態や目的に合ったトレーニングを計画・実施できる知識を身につける。さまざまな身体運動を通し、自身の健康の保持増進と体力増強に努めるとともに、コミュニケーションテーマ</p> <p>仲間とのかかわりの中で社会的態度の育成を図りながら、からだを動かすことの楽しさ、爽快感、達成感を体験し、健康の保持増進につながる生涯スポーツへの一助とする。</p>										
授業の概要	既習経験のある球技のうち、バドミントン、バスケットボールなど一般に親しまれている運動種目の実践を通して、青年期における体力・運動能力の維持向上やスポーツ理解を図る。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	選択種目(バドミントン・卓球) 基礎技術の習得(サービス、リターン、ラリー) 簡易ゲーム							毎回の授業後、痛めた部位や違和感があるかなど、自身の身体の状態を把握するとともに、次回の目標を明確にしておく。			
2	選択種目(バドミントン・卓球) 応用技術の習得(ダブルスフォーメーション) ゲーム							"			
3	選択種目(バドミントン・卓球) 応用技術の習得(ダブルスフォーメーション) ゲーム まとめ							"			
4	バスケットボール 基礎技術・個人技術の習得 (ボールコントロール、ドリブル、シュート) グルーピングのためのスキルテスト							"			
5	バスケットボール 基礎技術・個人技術の習得 (パスアンドシュート、1対1の攻防、2対2の攻防) リーグ戦							"			
6	バスケットボール 基礎技術・関係プレーの習得 (リバウンド攻撃、2対1の攻防、3対2の攻防) リーグ戦							"			
7	バスケットボール 基礎技術・関係プレーの習得 (スクリーンプレー) リーグ戦 まとめ							"			
テキスト	使用しない										
参考書・資料等	必要に応じ資料を準備する										
評価方法	技術点(50点)、平常点(50点)とする。平常点については、安全面や衛生面を考慮し、運動に適した服装が身についているか、仲間とコミュニケーションをとり協調しているか、意欲・関心を持って取り組み、動きのコツを身につけようとしているか、の三つの観点から総合運動習慣の重要性を認識し、運動が苦手でも失敗してもよいので、積極的かつ意欲的な取り組みを期待する。遅刻・欠席に関し、15分以上の遅刻は欠席とみなす。欠席した場合は、次回の授業までに必ず欠課届を提出済みであること。(体調の確認が必要であるため)										
履修上の注意等											

科目番号	2201	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	齋藤雅俊		
科目名	教育原理と教職論		栄養士		講義	医療	1年後期	ビジネス	フードサイエンス	実務経験	
課程	卒業必修	保育士		講義	幼稚園教諭	1年後期	ベビシッター	フードサイエンス	食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 教育実践のための基礎力を身につけるために、教育の本質と目的、意義と理念、教職の意義、役割や職務内容、これまでの教育史の歩み、について理解する。</p> <p>テーマ 「教育・保育学の基礎を学ぶ」</p>										
授業の概要	<p>「教育とは何か」という本質的な問いを念頭に置きつつ、教職に関わる内容や、教育史における教育観・教育思想の変遷を概観しながら理解を深め、幼稚園教諭・保育士として、現実の教育・保育実践において出会うであろう様々な出来事に関しても「人間と教育」のより全体的な脈絡の中で考察していく。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	ガイダンス&教育の基本的概念 「教育とは何か（意味や意義から）」							シラバスを読む。授業で配布した資料を読む。			
2	教育の基本的概念 「個性や自主性について」							授業で配布した資料を読む。			
3	教育の基本的概念 「素質か環境か」							授業で配布した資料を読む。			
4	教育の基本的概念 「教育の行われている場（学校・家庭・社会）」							授業で配布した資料を読む。			
5	教職の意義、教員の役割・職務について 「教職とは」							授業で配布した資料を読む。			
6	教職の意義、教員の役割・職務について 「教員の役割・職務等」							授業で配布した資料を読む。			
7	教職の意義、教員の役割・職務について 「教員に求められる資質・能力等」							授業で配布した資料を読む。			
8	教職の意義、教員の役割・職務について 「チーム学校・学び続ける教師等」							授業で配布した資料を読む。			
9	教育に関する歴史及び思想 ~ 「古代ギリシャ、ヘレニズム・ローマ時代の教育」							授業で配布した資料を読む。			
10	教育に関する歴史及び思想 「中世の教育」							授業で配布した資料を読む。			
11	教育に関する歴史及び思想 「近世（15～17世紀）の教育」							授業で配布した資料を読む。			
12	教育に関する歴史及び思想 「近代（18世紀）の教育」							授業で配布した資料を読む。			
13	教育に関する歴史及び思想 ~ 「近代（19世紀）の教育」							授業で配布した資料を読む。			
14	教育に関する歴史及び思想 「現代（20世紀）の教育」							授業で配布した資料を読む。			
15	教育に関する歴史及び思想 「就学前教育の歴史」							授業で配布した資料を読む。			
テキスト	特になし。										
参考書・資料等	パワーポイントによるまとめプリントを配布する。なお、配布物が多いため、各自綴じるためのファイルを用意すること。										
評価方法	レポートによる（2回）。										
履修上の注意等	新聞・テレビ等の教育関連情報に関心をはらうこと。また、出欠の不正（中抜け、無断退出、代返、コメントペーパー代筆等）の他、成績評価に関わる全ての不正については単位認定を不可とする場合がある。										

科目番号	2202	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	佐々木典彰		
科目名	教育心理学										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 子どもの心理的特徴を理解し、それをふまえた具体的指導を考えることができる。</p> <p>テーマ 子どもの心理の基礎</p>										
授業の概要	保育者として指導する際に役立つ心理学の理論や知識を学ぶ。随時、最新の研究例や心理テストも取り上げる。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	遺伝と環境							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
2	心の発達段階							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
3	言葉の発達							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
4	遊びの発達							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
5	記憶のしくみ							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
6	知能の捉え方							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
7	動機づけの方法							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
8	学習評価の種類							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
9	学習指導の考え方							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
10	保育者の子ども観・保育観							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
11	対人関係における心理的現象							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
12	人間の行動原理(学習理論)							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
13	いじめについて							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
14	登園拒否について							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
15	振り返りとまとめ							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
テキスト	なし。随時プリント配布等をする。										
参考書・資料等	「絶対役立つ教育心理学」藤田哲也 編著、ミネルヴァ書房										
評価方法	小テスト(42%)、レポート(58%)で評価する。										
履修上の注意等											

科目番号	2203	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	葛西克行		
科目名	図画工作(1)										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 幼児の造形活動に必要な様々な素材や道具に関する理解を深め、造形表現の基本的な知識や技能を習得する。</p> <p>テーマ 目的に沿った題材の構想と計画に関する実践的な教材研究。</p>										
授業の概要	様々な素材を使った造形活動をとおり、個人及びグループにおいて独自の題材を構想し、指導計画と計画書をもとにした試作品を作成する。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	授業ガイダンス 造形表現の意義							事前:「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針解説」の熟読。			
2	児童画の発達段階							事前:「児童画のロゴス」の熟読。 事後:レポート課題「児童画の発達段階のまとめ」提出。			
3	作品の見方・評価方法							事後:レポート課題「よい作品とは」提出。			
4	段ボールを使った造形表現(1) 課題演習							事前:段ボール(40cm×40cm)、木工ボンド、段ボールカッター、絵の具、鋏、装飾に使えるものの準備			
5	段ボールを使った造形表現(2) 課題演習										
6	段ボールを使った造形表現(3) 課題演習							事後:課題作品提出。			
7	段ボールを使った造形表現(4) 個人計画書作成							事前:段ボールを使った造形活動のアイデアの熟思。			
8	段ボールを使った造形表現(5) 試作、反省、計画書修正							事後:個人計画書、試作品提出。			
9	空き缶を使った造形表現(1) 課題演習							事前:空き缶(5~7個)、紙粘土(4袋)、爪楊枝、綿棒、ビーズ、ほかに装飾に使えるものの準備。			
10	空き缶を使った造形表現(2) 課題演習										
11	空き缶を使った造形表現(3) 課題演習							事後:課題作品提出。			
12	空き缶を使った造形表現(4) 個人計画書作成							事前:空き缶を使った造形活動のアイデアの熟思。			
13	空き缶を使った造形表現(5) 試作、反省、計画書修正							事後:個人計画書、試作品提出。			
14	木材を使った造形表現(1) 課題演習							事前:綿棒(2箱)、木工ボンドの準備。			
15	木材を使った造形表現(2) 課題演習							事後:課題作品提出。			
テキスト	なし										
参考書・資料等	幼稚園教育要領解説(フレーベル館)、保育所保育指針解説(フレーベル館)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼児造形の基礎(萌文書林)、児童画のロゴス(勤草書房)、共通感覚論(岩波現代文庫)、裸の王様(角川文庫・新潮文庫)										
評価方法	課題作品及びレポート(70%)、授業への取り組み状況(30%)										
履修上の注意等	履修者は授業ガイダンスを必ず履修すること。										

科目番号	2203	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	葛西克行		
科目名	図画工作(1)										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 幼児の造形活動に必要な様々な素材や道具に関する理解を深め、造形表現の基本的な知識や技能を習得する。</p> <p>テーマ 目的に沿った題材の構想と計画に関する実践的な教材研究。</p>										
授業の概要	様々な素材を使った造形活動をとおり、個人及びグループにおいて独自の題材を構想し、指導計画と計画書をもとにした試作品を作成する。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	木材を使った造形表現(1) 課題演習							事前:木工ボンドの準備。			
2	木材を使った造形表現(2) 課題演習							事後:課題作品提出。			
3	木材を使った造形表現(3) 個人計画書作成							事前:木材を使った造形活動のアイデアの熟思。			
4	木材を使った造形表現(4) 試作、反省、計画書修正							事後:個人計画書、試作品提出。			
5	布を使った造形表現(1) 課題演習							事前:段ボール、端布、木工ボンド、はさみ、カッターの準備。			
6	布を使った造形表現(2) 課題演習							事後:課題作品提出。			
7	布を使った造形表現(3) 個人計画書作成							事前:布を使った造形活動のアイデアの熟思。			
8	布を使った造形表現(4) 試作、反省、計画書修正							事後:個人計画書、試作品提出。			
9	平面技法の基本(1) 課題演習							事前:絵の具セット、水張り用パネルの準備。			
10	平面技法の基本(2) 課題演習							事後:課題作品提出。			
11	壁面の装飾(1) グループ協議、課題演習							事後:課題作品提出。			
12	壁面の装飾(2) 課題演習							事前:壁面装飾のアイデアの熟思。 事前:絵の具セット、装飾に使えるものの準備			
13	壁面の装飾(3) 課題演習							事後:課題作品提出。			
14	自由課題(1) 個人計画書作成、試作							事前:造形活動のアイデアの熟思			
15	自由課題(2) 試作、反省、計画書修正							事後:個人計画書、試作品提出。			
テキスト	なし										
参考書・資料等	幼稚園教育要領解説(フレーベル館)、保育所保育指針解説(フレーベル館)、幼児連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼児造形の基礎(萌文書林)										
評価方法	課題作品及びレポート(70%)、授業への取り組み状況(30%)										
履修上の注意等											

科目番号	2204	単位	2	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	田中 恵		
科目名	体育(1)										
課程	卒業必修	○	栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験	
			保育士	○	幼稚園 教諭	○	ベビー シッター	○	食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 幼児の運動遊びについて理解を深める。身体表現活動に関する知識・技術を身につける。</p> <p>テーマ 幼児の運動遊びを実際に体験しながら学ぶ。</p>										
授業の概要	乳幼児の身体発育や運動能力の発達を広義的に理解しながら、さまざまな運動遊びが子どもの身体発育・発達にどれだけ意義深いものであるかを知る。また、実際に運動遊びを幅広く体験することによって、遊びのもつ楽しさや喜びを感じながら身体運動に関する基本的な知識や技術を学習する。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	講義内容を把握し、幼児期における運動遊びの必要性を学ぶ。 (基本ステップを継続的に実施し、身体表現の技能を身につける。)							講義内容をノートにまとめる。			
2	幼児向けに創作された体操について学ぶ。							幼児体操の動きを確認する。			
3	歩く・走る・跳ぶなどの基本動作をリズムに合わせて動く。							講義内容をノートにまとめる。			
4	基本動作の応用 基本動作にジャンケンを加えて、発展させた遊びを体験する。							講義内容をノートにまとめる。			
5	基本動作の応用 投げる・蹴る等の基本動作を中心に、的当て・的入れの遊びを体験する。							講義内容をノートにまとめる。			
6	リズム表現 基本となるステップを用いて、音楽に合わせて自由に表現する。							身体表現の動きを考える。			
7	リズム表現 基本となるステップを用いて、音楽に合わせて自由に表現する。							身体表現の動きを考える。			
8	リズム表現 タンバリン・鈴などを用いて、音楽に合わせて自由に表現する。							身体表現の動きを考える。			
9	共通の題材を基にグループごとにオリジナルの動きや隊形を考える。							身体表現の動きを考える。			
10	簡単にできる鬼遊びやゲーム遊びを体験する。							鬼遊びを調べる。			
11	わらべうたを用いた遊びを体験する。							わらべうた遊びを調べる。			
12	幼児向けのフォークダンスを体験する。用語を理解しながら指導法を学習する。							講義内容をノートにまとめる。			
13	さまざまな音やリズムに合わせて身体表現をする。							動きの確認をする。			
14	水遊びについて実践的に学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。			
15	これまでの学習を振り返る。							ノートの内容を整理する。			
テキスト	「幼児の楽しい運動学習」不味堂出版										
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。										
評価方法	定期的に動きの習得状況を確認して評価する。										
履修上の注意等	講義内容はノートにまとめておくこと。										

科目番号	2204	単位	2	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	田中 恵		
科目名	体育(1)										
課程	卒業必修	○	栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス ト	実務経験	
			保育士	○	幼稚園教諭	○	ベビーシッター	○	食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 幼児の運動遊びについて理解を深める。身体表現活動に関する知識・技術を身につける。</p> <p>テーマ 幼児の運動遊びを実際に体験しながら学ぶ。</p>										
授業の概要	乳幼児の身体発育や運動能力の発達を広義的に理解しながら、さまざまな運動遊びが子どもの身体発育・発達にどれだけ意義深いものであるかを知る。また、実際に運動遊びを幅広く体験することによって、遊びのもつ楽しさや喜びを感じながら身体運動に関する基本的な知識や技術を学習する。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	小型遊具（ボール・フープ・縄）を使った遊びの特徴・内容を学ぶ。							小型遊具を使った遊びを考える。			
2	ボール遊び ボールを使った遊びの特徴や効果などを実践を通して理解し、指導法を学習する。							講義内容をノートにまとめる。			
3	ボール遊び ボールを使った基本動作を応用させて遊びを体験する。							講義内容をノートにまとめる。			
4	ボール遊び 簡単なルールを用いたボールゲームを行う。（転がしドッジボール・ドッジボールなど）							講義内容をノートにまとめる。			
5	フープ遊び フープを使った遊びの特徴や効果などを実践を通して理解し、指導法を学習する。							講義内容をノートにまとめる。			
6	フープ遊び フープを使った基本動作を応用させて遊びを体験する。							講義内容をノートにまとめる。			
7	フープ遊び 簡単なルールを用いたフープゲームを行う。（カラーバスケット・陣取りなど）							講義内容をノートにまとめる。			
8	縄遊び 縄を使った遊びの特徴や効果などを実践を通して理解し、指導法を学習する。							講義内容をノートにまとめる。			
9	縄遊び 長縄を使った遊びを体験する。							講義内容をノートにまとめる。			
10	縄遊び 短縄と長縄を使った遊びを体験する。							講義内容をノートにまとめる。			
11	障害走 子どもの年齢に適した障害走の内容を学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。			
12	障害走 子どもの年齢に適した障害走の内容を学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。			
13	自然と地形を活かした遊び（雪を利用した遊びを体験する。） 天候不良の場合は理論で行う							講義内容をノートにまとめる。			
14	さまざまな音やリズムに合わせて身体表現をする。							動きの確認をする。			
15	これまでの学習を振り返る。							ノートの内容を整理する。			
テキスト	「幼児の楽しい運動学習」不味堂出版										
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。										
評価方法	定期的に動きの習得状況を確認して評価する。										
履修上の注意等	講義内容はノートにまとめておくこと。										

科目番号	2205	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	福土亜友子		
科目名	音楽(1)										
課程	卒業必修	○	栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンタースト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭	○	ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 幼児教育において、ピアノ伴奏は、子どもの表現を引き出し、高めるための重要な役割を担う。本科目では、ピアノに関する基本的な知識や技術を身につけ、保育の中で扱う伴奏法を習得する。</p> <p>テーマ 初心者はピアノ伴奏の基礎と簡単な弾き歌いの技術を身につけ、既習者はコードネーム伴奏法など保育者に必要な高度な技術を身につける。</p>										
授業の概要	個人の習熟度や経験により、それぞれ課題を設定する。毎回課題として出された曲を次の授業までに譜読みし、練習することで、指使いや打鍵等の技術と、曲の構成について学ぶ。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	八長調のI・Vによる和音伴奏、レベルに応じた弾き歌い曲							日々の予習と復習を怠らないこと			
2	八長調のI・Vによる和音伴奏、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
3	八長調のI・Vによる和音伴奏、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
4	八長調のI・Vによる和音伴奏、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
5	右手の八分音符、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
6	左手の八分音符、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
7	両手の八分音符、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
8	ト長調の音階とI・V・V7による和音伴奏、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
9	ト長調のI・V・V7による伴奏型(1)、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
10	ト長調のI・V・V7による伴奏型(2)、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
11	ヘ長調のI・V・V7による和音伴奏、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
12	ヘ長調のI・V・V7による伴奏型(1)、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
13	ヘ長調のI・V・V7による伴奏型(2)、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
14	付点四分音符と八分音符のリズムと移調（移調は中・上級者のみ）、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
15	実技試験に向けての練習							"			
テキスト	『歌唱教材伴奏法』教育芸術社（全員）、『子どもの表現活動を導くコードネームによる伴奏法』圭文社（中・上級者のみ）										
参考書・資料等	『ポケットいっぱいのおうた』教育芸術社、『幼児の音楽教育』教育芸術社、『感じる心を育てる幼児のおうた』フレーベル館 などの中から印刷して配布する										
評価方法	定期試験（実技試験）：50% 授業までの取り組み（「レッスン記録」と授業での実技）：50%										
履修上の注意等	初回授業に配布する「レッスン記録」に毎日記録し、必ず担当教員の印を受けること。										

科目番号	2205	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	福土亜友子		
科目名	音楽(1)										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードライ エンティス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 前期に引き続き、ピアノに関する基本的な知識や技術を身につけ、保育の中で扱う伴奏法を習得する。</p> <p>テーマ 初心者はピアノ伴奏の基礎と簡単な弾き歌いの技術を身につけ、既習者はコードネーム伴奏法など保育者に必要な高度な技術を身につける。</p>										
授業の概要	個人の習熟度や経験により、それぞれ課題を設定する。毎回課題として出された曲を次の授業までに譜読みし、練習することで、指使いや打鍵等の技術と、曲の構成について学ぶ。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	各調の主要三和音、レベルに応じた弾き歌い曲							日々の予習と復習を怠らないこと			
2	各調のカデンツ（終止形）、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
3	いろいろな指使い(1)指ひろげ、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
4	いろいろな指使い(2)八度の跳躍と左手の指ひろげ、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
5	いろいろな指使い(3)指かえ、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
6	いろいろな指使い(4)指またぎと指くぐり、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
7	三連符、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
8	十六分音符、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
9	重音、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
10	臨時記号、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
11	付点八分音符と十六分音符のリズム、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
12	弱起（アウフタクト）の曲、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
13	二長調の音階と主要三和音、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
14	装飾音、レベルに応じた弾き歌い曲							"			
15	実技試験に向けての練習							"			
テキスト	『歌唱教材伴奏法』教育芸術社（全員）、『子どもの表現活動を導くコードネームによる伴奏法』圭文社（中・上級者のみ）										
参考書・資料等	『ポケットいっぱいうた』教育芸術社、『幼児の音楽教育』教育芸術社、『感じる心を育てる幼児のうた』フレーベル館 などの中から印刷して配布する										
評価方法	定期試験（実技試験）：50% 授業までの取り組み（「レッスン記録」）と授業での実技：50%										
履修上の注意等	初回授業に配布する「レッスン記録」に毎日記録し、必ず担当教員の印を受けること。										

科目番号	2210	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	島内智秋			
科目名	保育原理(1)		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス		実務経験	
課程	卒業必修	保育士	○	幼稚園教諭		ベビーシッター		○	食育インストラクター			
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 ・保育の本質や保育の原理、子どもの発達過程に適した保育や環境について理解する。</p> <p>テーマ ・保育士として基礎的知識を理解し、実践へつなげる力を養う。</p>											
授業の概要	<p>保育の基本である「保育の意義・目標・内容」「保育の原理」「子どもの遊びの意義」「子どもの発達特性」「保育所の健康・安全上の留意事項」などに関しての学び、理解して身につけていく。</p>											
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）				
1	オリエンテーション 保育の理念と概念							子どもの最善の利益とは何か考えてくる				
2	保育の基本 保育対象としての子ども - なぜ子どもを保育するのか -							子ども観について考えてくる				
3	福祉としての保育 - なぜ保育所が必要なのか -							なぜ保育所が必要か考えてくる				
4	保育所保育指針の考え方 - なぜ保育所は教科書を用いないのか 幼児の発達の特徴と保育 2歳児について							なぜ保育所は教科書を用いないのか考える				
5	発達過程に応じた保育 - なぜ子どもの発達理解は大切なのか 幼児の発達の特徴と保育 3歳児について							なぜ子どもの発達を学ぶのか考える				
6	保育方針と指導計画 幼児の発達の特徴と保育 4歳児について							保育実践の成り立ちを考える				
7	保育のねらいと内容・遊びの充実と保育士の援助 幼児の発達の特徴と保育 5歳児について							子どもの遊びと保育者の援助を考える				
8	遊びと環境構成・保育における指導の総合性 幼児の発達の特徴と保育 6歳児について							なぜ保育所に遊具があるのか考える				
9	子ども観・保育観とともに成長する保育士・遊びにおける個と集団への配慮							保育者の記録と保育者の成長を考える				
10	保育におけるPDCAサイクルとは何か・2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて							保育のPDCAサイクルを考える				
11	保育の形態と保育士の役割・2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて 保育内容と方法・乳幼児の発達の特徴と保育 6か月未満児について							保育形態による保育士の役割を考える				
12	保育内容と方法・乳幼児の発達の特徴と保育 6か月から1歳3か月未満児について 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて							この時期の子どもの発達を考える				
13	保育内容と方法・乳幼児の発達の特徴と保育 1歳か月から2歳未満児について 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて							この時期の子どもの発達を考える				
14	現在の保育を取り巻く状況について気になった記事から考える(グループで深めていく) 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて							気になった保育の記事等を持ってくる				
15	現在の保育をとりまく状況について(保育所・幼稚園・認定こども園・新制度について)							保育をとりまく状況について考える				
テキスト	『なぜからはじめる保育原理』池田隆英・上田敏文ほか編著 建帛社 『保育所保育指針解説書』厚生労働省(平成30年改訂版)											
参考書・資料等	『保育原理』民秋言・河野利津子 北大路書房 『保育原理』天野珠路・北野幸子 中央出版											
評価方法	期末テスト(60%)・提出物(20%)・受講態度(20%)を合わせた総合評価を行う。											
履修上の注意等	実践につなげるようイメージし、発言したり質問したりして積極的な態度で臨んでほしい。											

科目番号	2211	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	小野昇平		
科目名	子ども家庭福祉(1)										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 児童家庭福祉の各種サービスに共通する点について、専門職としての保育士に求められる最低限の知識を身に着けること。 テーマ 子ども家庭福祉の制度</p>										
授業の概要	<p>保育士は、「児童の保育および保護者に対する指導を行う」児童福祉の専門職であり、子どもを保育するだけでなく、地域における子どもや家庭に関する諸問題についての支援者としての役割も求められる。それゆえこの講義では、児童家庭福祉の諸制度に共通する総論部分についての理解を深めると同時に、現代の子どもや家庭が置かれている社会の状況についても深く考えることを目的とする。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	なぜ「子どもの福祉」ではなく「子ども『家庭』福祉」なのだろう？							厚労省「子ども」で検索。「」を先 て、どのような政策があるか見て おく／授業のスライドを見返して おく			
2	子どもや家庭を巡る現代社会の現状を理解しよう							「子ども」で検索。「」を先 て、どのような政策があるか見て おく／授業のスライドを見返して おく			
3	児童家庭福祉に関する具体的な問題をいくつか見てみよう							「伝説のお母さん」で検索。番組 のあらすじをよく見ておく／授業 のスライドを見返しておく			
4	児童家庭福祉の理念と歴史 「子ども」観の変遷を理解しよう							江戸時代や明治時代の子どもたち はどう扱われていたか考えておく ／授業のスライドを見返しておく			
5	児童家庭福祉の理念と歴史 「子どもの最善の利益」とはどういうことだろう？							「子どもの最善の利益」で検索、 どのような意味かを調べておく／ 授業のスライドを見返しておく			
6	児童家庭福祉法制の全体像を見てみよう							「児童福祉制度 解説」で検索し、 WAM-NETのHPをよく読んでおく。/ 授業のスライドを見返しておく			
7	児童家庭福祉の諸政策を巡る都道府県と市町村の役割分担を考えよう							「児童福祉施設」にはどのような 種類があるか調べておく／復習は 同上			
8	様々な児童福祉施設の役割について理解しよう 小テスト							「児童福祉施設」にはどのような 種類があるか調べておく／復習は 同上			
9	児童福祉施設による社会的養護とその問題点を考えよう							「社会的養護」で検索し、厚労省 のHPを見ておく。／復習は同上。			
10	児童家庭福祉の専門職にはどのような職種があるのだろうか？これらの職に求められるものは何だろうか？							「保育士」以外に、子どもに関す る資格には何があるか調べてお く。／復習は同上。			
11	子育て支援の諸政策について現状を理解し、問題点を考えよう							「弘前市 ぎゅっと」で検索、市 のHPをよく見ておく。／復習は同 上。			
12	多様な保育ニーズへの対応を考えよう							保育所以外の「保育」サービスに は何かがあるか調べておく。／復習 は同上。			
13	子ども子育て支援新制度で何が変わったのだろうか？							「子育て支援新制度」で検索、厚 労省のHPをよく見ておく。／復習 は同上。			
14	子ども子育て支援新制度で解決されていないこと							1回目3回目のスライドを見返して おく／復習は同上。			
15	世界と日本の子どもたち 子どもの権利条約と子ども家庭福祉							「子どもの権利条約」で検索、ユ ニセフのHPをよく見ておく。／復 習は同上。			
テキスト	特になし										
参考書・資料等	講義の最初に紹介する										
評価方法	毎回のコメントシート...30% 期末試験...70%										
履修上の注意等	聞いたことのない言葉が多く出てくるので、予習復習をすること										

科目番号	2212	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	佐藤優輝		
科目名	社会的養護(1)										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 社会的養護の役割を理解する。 権利擁護と支援者としての視点を身につける。 社会的養護の現状を理解し、課題について考える。</p> <p>テーマ 新しい社会的養育ビジョン 権利擁護</p>										
授業の概要	<p>テキストに沿いながら講義形式で社会的養護の全体像について理解を深める。 社会的養護の実践・現状について講義形式で理解を深める。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	社会的養護とは何か										
2	子どもの権利										
3	権利擁護としての社会的養護										
4	社会的養護の歴史										
5	施設養護										
6	家庭養護										
7	職員の資質と専門性										
8	職員の資質と専門性										
9	支援者に求められる倫理観と自己覚知										
10	チームアプローチ										
11	スーパービジョン										
12	パーマネンシーの保証										
13	地域との連携										
14	施設の運営管理										
15	社会的養護の課題と展望、まとめ										
テキスト	新・社会的養護の原理(社会的養護) 櫻井奈津子 青踏社										
参考書・資料等											
評価方法	受講姿勢50%、課題(レポート)50%										
履修上の注意等	社会的養護で学ぶ子どもを捉える視点は、すべての子どもをとらえる視点につながる。講義形式ではあるが、学生との双方向的なやりとりの機会を多くしたいと考えているので、積極的に発言・質問し社会的養護についての理解を深めてほしい。										

科目番号	2213	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	小野昇平		
科目名	社会福祉										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 社会福祉の具体的な制度についての知識を獲得すること。</p> <p>テーマ 社会福祉制度</p>										
授業の概要	現代社会における社会福祉の意義を踏まえ、また支援を必要としている人たちがどのような困りごとを抱えているのかを理解した上で、具体的な制度についての知識を獲得することを目的とする。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	社会福祉制度の存在意義を考えよう							弘前市社会福祉協議会のHPを見て、どのような活動をしているか調べる/授業のスライドを見返しておく			
2	社会福祉と具体的問題							身近な「困りごとを抱えている人」について考えておく/授業のスライドを見返しておく			
3	社会福祉と子ども家庭福祉 貧困の連鎖について知ろう							「子どもの貧困」で検索。日本財団のHPをよく見ておく/授業のスライドを見返しておく			
4	社会福祉の実施体制について理解しよう							「社会福祉事業」で検索。厚労省のHPをよく見ておく/授業のスライドを見返しておく			
5	社会福祉施設と社会福祉の専門職							「福祉の資格 社協」で検索、どのような専門職があるか見ておく/授業のスライドを見返しておく			
6	社会福祉と相談援助 困りごとへの支援という視点							予習資料を読んでおく/授業のスライドを見返しておく			
7	利用者保護の仕組み 安心して支援を受けられるためには							「利用者保護 福祉」で検索し、横浜市のHPをよく読んでおく。/授業のスライドを見返しておく			
8	広い意味での社会保障と社会福祉の関係 年金、医療と社会福祉							「公的年金制度の概要」「健康保険 厚労省」でそれぞれ検索し、厚労省のHPをよく読んでおく。/復習は同上			
9	高齢者福祉と介護保険 介護保険制度の成立過程							「介護事業所」で検索し、「介護事業所・生活関連...」のHPを見ておく。/復習は同上。			
10	高齢者福祉と介護保険 介護保険制度の内容							「介護保険 利用手続」で検索し、「介護事業所・生活関連...」のHPを見ておく。/復習は同上。			
11	高齢者福祉と介護保険 地域包括ケアシステムとは							「地域包括ケアシステム」で検索、厚労省のHPをよく見ておく。/復習は同上。			
12	障害者福祉 障害とは何かについて深く考えてみよう							「バリアフリー」で検索し、政府広報オンラインのページをよく見ておく。/復習は同上。			
13	障害者福祉 障害者福祉のサービスについて学ぼう							「障害者 サービス」で検索、厚労省のHPをよく見ておく。/復習は同上。			
14	生活保護制度 生活保護制度・生活困窮者自立支援制度の全体像を理解しよう							「生活保護」で検索、厚労省のHPをよく見ておく。/復習は同上。			
15	まとめ 社会福祉制度が守っているもの							「無縁社会 NHK」で検索、NHKの番組HPをよく見ておく。/復習は同上。			
テキスト	特になし										
参考書・資料等	講義の最初に紹介する										
評価方法	毎回のコメントシート30%、期末試験70%										
履修上の注意等	聞いたことのない言葉が多く出てくるので、予習復習の際にきちんと調べておくこと										

科目番号	2214	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	松宮ゆり		
科目名	子どもの保健										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義と身体的な発育・発達と保健について理解する。 健康状態とその把握の方法、疾病とその予防法、他職種間の連携・協働の下での適切な対応を理解する。 テーマ 児個人や集団の心身における健康問題発生を最小限度に抑え、問題発生時対処できるように学ぶ。</p>										
授業の概要	<p>子どもの心身の健康と保健の意義、身体的発育・発達を学ぶとともに、心身の健康状態把握について。 子どもの疾病の予防及び適切な対応について学ぶ。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	第1章 子どもの健康と保健・ガイダンス（本授業の進め方と授業方法） 保健活動の意義と目的							シラバスに目を通す			
2	子どもの出生と母子保健の意義							各自の出生時身長、体重を調べる			
3	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題							日本の出生数最多と最少の年・数・背景を調べる			
4	第2章 子どもの発育・発達と保健 子どもの身体発育と運動機能の発達							各自のBMIを計算し、肥満度を判定する			
5	生理機能の発達と生活習慣							各自の睡眠姿勢、時間・脈拍・呼吸数を計測、記録する			
6	第3章 地域における保健活動と子どもの虐待防止							弘前市で行われている健康支援について調べる			
7	第4章 子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握							各自の体調不良時の症状とその時の対応を列挙する			
8	第5章 子どもの病気 子どもの免疫の発達と感染症の特徴							各自がこれまでに罹患した感染症名・罹患年齢を調べる			
9	感染症の予防および適切な対応							自分のこれまでの予防接種歴・接種年齢を調べる			
10	救急疾患の特徴と適切な対応							本校のAEDが置かれている場所を確認する			
11	新生児の病気、新生児にわかる先天性の病気の特徴と対応							先天性の疾患はどのような疾患があるか調べる			
12	⑤アレルギー疾患の特徴と適切な対応							アレルギーをもっている人が自分の周りにどれくらいいるか調べる			
13	慢性疾患の特徴と適切な対応							体調不良時の症状にはどのようなものがあるか挙げてみる			
14	第6章 保護者との情報共有と家族の支援							自分が体調不良時、家族への伝え方はどのようにしてるか			
15	第7章 子どもの健康診断と関連機関との連携							出生前診断について現時点での考えをまとめる			
テキスト	「授業で現場で役立つ！子どもの保健テキスト」編著 小林 美由紀・編集協力 森脇 浩一・診断と治療社										
参考書・資料等	随時資料及び写真等を回覧										
評価方法	定期試験（80％）、授業内提出物（20％）を総合評価。試験は定期試験期間内に実施する。										
履修上の注意等	確認プリントで各章のポイントをおさえ、振り返り問題を解きながら理解を深めていく。										

科目番号	2215	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	松宮ゆり	
科目名	乳児保育(1)									
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス ト	実務経験
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター	
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 ・乳児保育の意義、目的と歴史の変遷及び役割、また保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 ・3歳未満児の保育、発達を踏まえた保育の内容と運営体制について、職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。</p> <p>テーマ 乳幼児期は、人間として成長する基礎づくりとして重要な時期である。</p>									
授業の概要	<p>・乳児保育の意義及び目的と役割 ・乳児保育の現状と課題 ・3歳未満児の発育、発達を踏まえた保育 ・乳児保育における連携・協働について</p>									
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）		
1	(1)ガイダンス・乳児保育とは何か ・乳児保育はどこで行われているのか							シラバスに目を通す		
2	(2)「保育所保育指針」における乳児保育の理念と概念 ・3つの視点と愛情豊かに、応答的に行われる保育							「保育所保育指針」第1章を読む		
3	(3)乳児保育の歴史 ・乳児保育の始まり							児童福祉法（抄）に目を通す		
4	(4)乳児保育の基礎知識 1 ・自我の芽生えと自己統制力							ポウルビィについて調べる		
5	(5)乳児保育の基礎知識 2 ・マザリーズの特徴について ・乳児保育に関わるねらい及び内容							5領域についての予備知識を得る		
6	(6)乳児保育の基礎知識 3 ・保育の実施に関わる「配慮事項」と特別な配慮が必要な子どもへの支援							アレルギー疾患についての資料を探して持参（コピー可）		
7	(7)保育所・認定こども園における乳児保育 1 ・保育所とは、認定こども園とは、乳児保育の物的・人的環境							「児童福祉法第39条に目を通す		
8	(8)保育所・認定こども園における乳児保育 2 ・保育所、幼保連携認定こども園における生活活動							3歳未満児と3歳以上児の デイリープログラムを考える		
9	(9)乳児院における乳児保育 ・乳児院とは・近年の状況・養育の基本・内容・養育の原則～人的環境							保育時間と行事予定を考える		
10	(10)家庭的保育等における乳児保育 ・家庭的保育事業とは・法規定・保育の特徴・実際・資質の向上							家庭的保育事業が近隣で設置されているかHP等で調べる		
11	(11)乳児保育が行なわれるほかの保育 ・「子ども・子育て支援制度」における保育施設の位置付け							「子ども・子育て支援法」に目を通す		
12	(12)子育て支援における乳児保育 ・地域の保護者等に対する子育て支援・虐待予防							「認定こども園法」に目を通す		
13	(13)保護者とのパートナーシップ 1 ・保護者が置かれている環境・乳児保育における保護者支援							20年後の自分の家族形態を（希望）想定してみる		
14	(14)保護者とのパートナーシップ 2 ・連絡帳・園便り・クラス便り・発達の遅れと向き合う保護者との連携							クラス便りを計画する		
15	(15)職員間・地域の関係機関との連携 ・異職種、職員間、地域の関係機関との連携							クラス便りを完成させる		
テキスト	<p>「乳児保育演習ブック」[第2版] 松本 峰雄 監修・池田りな、他 著・ミネルヴァ書房 「マザリーズの理論と実践」 内山伊知郎 監修・児玉珠美、上野萌子 編著・北大路書房</p>									
参考書・資料等	<p>「保育所保育指針解説」平成30年3月 厚生労働省 編</p>									
評価方法	<p>定期試験80%、確認プリント20%を総合評価。試験は定期試験期間内に実施する。</p>									
履修上の注意等	<p>各回のポイントを把握し、確認プリントを行いながら理解を深めていく。</p>									

科目番号	2216	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	福士亜友子	
科目名	子どもと音楽		栄養士		医療		ビジネス		実務経験	
課程	卒業必修	保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		フードサイエント		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 音楽の理論を学ぶことで、楽譜が理解できるようになる。子どものうたを歌うための歌唱法が身につく。幼児音楽メソッドを知り、実践へとつなげる。 テーマ 音楽を通して子どもを保育する上で必要な音楽理論、音楽技術の習得</p>									
授業の概要	<p>子どもの音楽活動を展開するために保育者に必要な歌唱法を通して、音楽を豊かに表現するための想像力と表現力、音楽コミュニケーション力を養う。</p>									
回	授 業 計 画						自主学習（授業前・授業後）			
1	園生活における音楽場面 保育者と子どもの音楽表現活動、季節の行事、年齢別の指導事例							授業で学んだことを復習すること		
2	音楽の理論(1) ト音記号、ヘ音記号、大譜表、音符と休符、拍子記号							"		
3	音楽の理論(2) 音の強弱、速度、奏法							"		
4	音楽の理論(3) 省略記号、コードネーム							"		
5	保育者に求められる歌唱法(1) ソロヴォーカル、弾き歌い							授業で学んだことを復習すること。ヴォイストレーニングは毎日行うことが望ましい。		
6	保育者に求められる歌唱法(2) 幼児にふさわしい歌い方							"		
7	保育者に求められる歌唱法(3) 呼吸、発音、発声							"		
8	歌唱・声を中心とした表現活動(1) わらべうた、遊びうた							"		
9	歌唱・声を中心とした表現活動(2) 唱歌、童謡							"		
10	歌唱・声を中心とした表現活動(3) ポピュラー曲							"		
11	子どものうたと身体表現 グループワーク							"		
12	幼児音楽教育メソッド(1) ダルクローズのリトミック							"		
13	幼児音楽教育メソッド(2) オルフ・アプローチ							"		
14	幼児音楽教育メソッド(3) コダーイ・メソッド							"		
15	まとめと振り返り							"		
テキスト	神原雅之・鈴木恵津子 編著 「改訂 幼児のための音楽教育」教育芸術社									
参考書・資料等	授業中、適宜資料を配布する									
評価方法	小テストを実施する									
履修上の注意等	各自ファイルを準備し、授業で配布する資料を保管すること									

科目番号	2216	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	福士亜友子		
科目名	子どもと音楽										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 子どもに指導するための簡易楽器の奏法が身につく。前期から学んだ歌唱、奏法、表現法を通してグループで音楽劇を行う。</p> <p>テーマ 音楽を通して子どもを保育する上で必要な音楽理論、音楽技術の習得</p>										
授業の概要	<p>子どもの音楽活動を展開するために保育者に必要な器楽奏法を通して、音楽を豊かに表現するための想像力と表現力、音楽コミュニケーション力を養う。</p>										
回	授 業 計 画							自主学习（授業前・授業後）			
1	保育者に求められる歌唱法(4) 呼吸、発音、発声の復習							授業で学んだことを復習すること。ヴォイストレーニングは毎日行うことが望ましい。			
2	保育者に求められる歌唱法(5) 演技のメソッド(五感と気持ちを込める)							"			
3	保育者に求められる歌唱法(6) ソロヴォーカル、アカペラ・ヴォーカル							"			
4	音合わせ遊び(1) すず、カスタネット、タンブリン							"			
5	音合わせ遊び(2) ウッドブロック、トライアングル、小太鼓、大太鼓							"			
6	音合わせ遊び(3) 鍵盤楽器、木琴、鉄琴							"			
7	リズム遊び、歌あそび(1)							"			
8	リズム遊び、歌あそび(2)							"			
9	音楽劇(1) 保育に使用できるアイデアを考える							"			
10	音楽劇(2) 役割分担、練習							"			
11	音楽劇(3) 練習、リハーサル							"			
12	音楽劇(4) 発表							"			
13	ミュージックベル、トーンチャイムの遊び(1) ミュージックベル、トーンチャイムの特徴と奏法							"			
14	ミュージックベル、トーンチャイムの遊び(2) 季節のうた、ポピュラー曲							"			
15	まとめと振り返り							"			
テキスト	神原雅之・鈴木恵津子 編著 「改訂 幼児のための音楽教育」教育芸術社										
参考書・資料等	授業中、適宜資料を配布する										
評価方法	小テストを実施する										
履修上の注意等	各自ファイルを準備し、授業で配布する資料を保管すること										

科目番号	2218	単位	2	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	福士亜友子		
科目名	表現										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエントリスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 領域「表現」の内容を理解する。子どもの豊かな感性と表現する力を育てるために、保育者としての支援を考える。保育者自身の表現の重要性について学ぶ。</p> <p>テーマ 子どもの発達と造形表現、劇的表現、音楽表現の理解と考察</p>										
授業の概要	<p>子どもとあそび、表現活動について発達過程に即して理解する。表現の意義・内容・方法などについて理論的な考察を行う。また、実践としても活かせるように、保育の現場における表現活動について地域も視野に入れて考える。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	領域「表現」 幼稚園教育要領、保育所保育指針における乳幼児の表現活動を理解する							事前にテキスト等を読み、内容を深めておく。授業後は、ノート整理をする。			
2	"感性"と"表現"についての考察 喜怒哀楽、五感、「オモてアラワス」技術を理解し、子どもの気持ちに共感する							"			
3	"遊び"についての考察 遊びの過程の理解、幼児期の遊びを思い出す、幼児の遊びを観察する							"			
4	子どもの発達と造形表現活動(1) 幼児期の描画表現、なぐり描きから芸術に至るまでを理解する							"			
5	子どもの発達と造形表現活動(2) 絵画、立体表現の基本的な素材、道具、環境づくりを理解する(ペーパーアニマルの製作とドキュメンテーション)							"			
6	子どもの発達と造形表現活動(3) 地域で行われるアートプロジェクト、造形ワークショップの事例(京都造形芸術大学「こども芸術大学」、聖徳大学「アート11 まつどバラレルワールド」)							"			
7	対話型鑑賞（「真美人」、「少年の肖像」）子どもの鑑賞活動の意味を理解し、自身の鑑賞力を高める							"			
8	子どもの文化と表現活動 玩具、絵本、紙芝居、人形劇、テレビ番組などについて、表現の視点から理解する							"			
9	子どもの発達と劇的表現(1) 日常的な劇遊びと行事などにおける劇的な表現活動を理解する							"			
10	子どもの発達と劇的表現(2) 「人形劇」の考察(モノの擬人化、伝統人形劇と現代人形劇)							"			
11	子どもの発達と劇的表現(3) 「人形劇」をグループで実践し、子どもの気持ちを再体験する							"			
12	子どもの発達と音楽表現活動(1) 乳幼児の音楽認知発達を理解する							"			
13	子どもの発達と音楽表現活動(2) 「歌う」ということ、乳幼児の声域を理解する							"			
14	子どもの発達と音楽表現活動(3) 保育現場での音楽環境を考察する(スウェーデンと日本)							"			
15	まとめ 保育表現について総合的に理解する							"			
テキスト	小林紀子・砂上史子・刑部育子 編著 「保育内容「表現」 新しい保育講座11」 ネルヴァ書房										
参考書・資料等	授業中、適宜資料を配布する										
評価方法	小テスト(80%)、提出物(20%)										
履修上の注意等	毎回出席し、授業記録をとること										

科目番号	2230	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	佐藤 ゆかり		
科目名	情報技術										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 自分のイメージした文書を様々な情報機器・ソフトウェアを活用しながら自由に作成できるようになる。インターネット上のサービスを活用し、情報収集・情報発信ができるようになる。</p> <p>テーマ 情報機器を活用し、相手に対して的確に情報を伝えるにはどのような知識と技術が必要かを学ぶ。</p>										
授業の概要	<p>情報を適切に表現・発信するための知識を養い、情報機器（コンピュータおよび周辺機器）の操作およびアプリケーションソフトウェアを活用した文書作成・情報伝達などの技術を学びます。ソフトウェア操作は、日本情報処理検定協会主催日本語ワープロ検定1級・文書デザイン検定2級相当及びペンタブレットによるペイント描画の知識・技術の習得を想定した内容です。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	学内ネットワークシステムの利用方法について outlook サイト yammer onedrive office onlineの基本的操作と活用演習							課題が出た場合は必ず定められた日までに提出する。			
2	講義概要・コンピュータ実習室利用の留意事項を説明 習熟度アンケートの実施										
3	ワープロソフトの基本的な機能説明と文書作成に係わる全般的な機能（ページの設定・書式設定・印刷など）について ビジネス文書の基本構成について										
4	課題作成1 近況報告を題材として、Wordによるページ設定・書式設定・印刷に取り組む										
5	ワープロソフトの基本的な機能説明と文書作成に係わる全般的な機能（表の作成・結合・分割・罫線修飾など）について										
6	オートシェイプ・図形描画機能を利用した地図の作成										
7	タイピングテスト 画像を扱うための基礎知識の理解、画像編集ソフトウェアの基本操作について 課題作成2 DTPによる名刺の制作方法と情報デザイン1										
8	課題作成2 DTPによる名刺の制作方法と情報デザイン2										
9	課題作成3 オリジナルのビジネス文書を作成する1（企画）										
10	課題作成3 オリジナルのビジネス文書を作成する2（公文書制作）										
11	課題作成3 オリジナルのビジネス文書を作成する3（告知媒体制作）										
12	課題作成4 ペンタブレット操作を中心とした画像作成・加工の操作について1										
13	課題作成4 ペンタブレット操作を中心とした画像作成・加工の操作について2										
14	課題作成4 ペンタブレット操作を中心とした画像作成・加工の操作について3										
15	修得した知識・技術を活用した文書作成技能テスト （文書デザイン検定2級程度の内容）										
テキスト	授業内容に応じて適宜資料を配布する										
参考書・資料等											
評価方法	課題の提出状況および完成度（4題70%） 技能テスト（文書作成・タイピング）（30%）										
履修上の注意等	目的意識を持って授業に臨んでください。特に欠席した際には次の授業前に欠席時の内容を補完しておくこと。										

科目番号	2230	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	佐藤 ゆかり		
科目名	情報技術										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 表計算ソフトウェア「Excel」を活用したデジタルデータの加工処理を学び、保育現場で活用できることを目指す。</p> <p>テーマ 複雑な表の作成、計算式・関数式の理解と活用、グラフの加工</p>										
授業の概要	<p>「Excel」の操作の初歩を学ぶ。特に保育現場での活用を前提とした実践的な内容を重点的に扱う。日本情報処理検定協会主催表計算検定3級程度の知識・技術の習得を想定した内容です。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	講義概要・表計算「Excel」の画面等の基本確認 基本操作や用語の確認、セルへの入力練習などを行う							課題が出た場合は必ず定められた日までに提出する。			
2	課題作成5 「園日誌」等を題材に、セルや罫線について学習し複雑な表を作成に取り組む1										
3	課題作成5 「園日誌」等を題材に、セルや罫線について学習し複雑な表を作成に取り組む2										
4	「カレンダー」を題材に、計算式、セル参照（相対・絶対・混合）、コピー・ペーストについて学習する										
5	代表的な関数式の入力方法、小数点の丸め処理、ソート機能について学習する										
6	IF関数、論理関数（AND・OR・NOT）、ネスト関数（IF・論理関数）について学習する										
7	課題作成6 これまで学習した機能を活用し、表計算3級程度の問題に取り組む										
8	条件付き集計関数を学習し、練習問題に取り組む										
9	課題作成7 「預かり保育管理表」を題材にし、これまで学習した機能を活用し作成に取り組む1										
10	課題作成7 「預かり保育管理表」を題材にし、これまで学習した機能を活用し作成に取り組む2										
11	グラフ（複合グラフ含む）作成・加工（絵の貼り付け）について学習する										
12	課題作成8 「成長記録表」を題材にし、表・グラフ作成に取り組む1										
13	課題作成8 「成長記録表」を題材にし、表・グラフ作成に取り組む2										
14	「児童台帳」を題材にし、入力規則設定、検索・フィルター機能、条件付き書式設定、ウィンドウ分割について学習する										
15	授業の振り返りとまとめ ・未達成課題への指導・助言と後期実技チェックを行う。										
テキスト	授業内容に応じて適宜資料を配布する										
参考書・資料等											
評価方法	課題の提出状況および完成度（8題：80%） レポート（20%）										
履修上の注意等	目的意識を持って授業に臨んでください。特に欠席した際には次の授業前に欠席時の内容を補完しておくこと。										

科目番号	2231	単位	4	授業形態	実習	開講時期	集中	担当	教職課程委員会	
科目名	教育実習									
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験
			保育士		幼稚園 教諭	○	ベビー シッター		食育インス トラクター	
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 学内で学んだ専門知識や技能を現場において総合的に実践し、子どもとのふれあいを通して教師の職務を体験し、応用力を身に付ける。</p> <p>テーマ 幼児教育の内容や幼稚園の機能、教師の役割を具体的に学ぶ。</p>									
授業の概要	6月の柴田幼稚園における2日間観察実習から学習の動機をつかみ、観察・参加実習を通じて幼児教育の内容や幼稚園の機能、教師の役割を具体的に学ぶ。									
回	授 業 計 画								自主学習（授業前・授業後）	
1	【柴田幼稚園2日間観察実習】									
2	○実習期間：6月初旬									
3	○実習施設：柴田幼稚園									
4	○実習内容： 幼稚園の一日の流れを知る。 子どもの遊びの実際を観察する。 保育者の子どもへのかかわり方を観察する。									
5	【教育実習】									
6	○実習期間：11月中旬（1週間）									
7	○実習施設：履修者の希望を基に実習先を決定する。									
8	○実習形態： 観察実習 参加実習を中心に実施する。									
9	観察実習 子どもの保育の基礎的、全般的な状況の把握									
10	参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加									
11										
12										
13										
14										
15										
テキスト	「幼稚園・保育所実習の手引き」 東北女子短期大学 教職課程委員会・保育士課程委員会編									
参考書・資料等	幼稚園教育要領、必要に応じて資料を配付する。									
評価方法	実習先の評価（60％）実習日誌の内容評価（40％）									
履修上の注意等	実習の意義・目的・内容を十分理解したうえで、事前準備をしっかりと整えて実習に臨むこと。									

科目番号	2232	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1～2年通年	担当	島内智秋・佐々木典彰		
科目名	教育実習事前事後指導										
課程	卒業必修		栄養士 保育士		医療 幼稚園教諭		ビジネス ベビーシッター		フードサイエンス ト 食育インストラクター	実務経験	
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 実りある教育実習のために必要な知識・技能を修得する。 また、実習後に振り返りを行い、自分の課題を明確にする。 テーマ 教育実習の準備と振り返り</p>										
授業の概要	<p>2年間にわたる通年科目であり、1年次は11月の教育実習の前後に7回行い、2年次は9月の教育実習の前後に8回行い、実習日誌を中心に、事前指導では実習に必要な知識や技能を修得し、事後指導では実習の自己評価および振り返りを行う。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	【事前指導】 教育実習とは、幼稚園とは							参考書等で関連することを調べる。			
2	【事前指導】 実習日誌における実習目標を中心に、実習に必要な知識や技能を修得する。							参考書等で関連することを調べ、例を書いてみる。			
3	【事前指導】 実習日誌における記録・感想を中心に、実習に必要な知識や技能を修得する。							参考書等で関連することを調べ、例を書いてみる。			
4	【事前指導】 実習日誌における反省を中心に、実習に必要な知識や技能を修得する。 指導案にもふれる。							参考書等で関連することを調べ、例を書いてみる。			
5	【事後指導】 実習の振り返り							自分の課題を洗い出す。			
6	【事後指導】 実習の振り返り							自分の課題を洗い出す。			
7	【事後指導】 振り返りの報告会							今後の課題を明確にする。			
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
テキスト	なし。随時プリント配布等をする。										
参考書・資料等	幼稚園教育要領 平成29年告示 文部科学省										
評価方法	レポートにより評価する。										
履修上の注意等											

科目番号	2233	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	相馬 玲子		
科目名	保育者論										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 保育者に求められる資質、役割、専門性について具体的に理解し、あるべき保育者の姿について述べる事が出来る。</p> <p>テーマ 保育者としての基礎的な知識、専門性を学ぶ事で、自らの「保育者像」を確立する。</p>										
授業の概要	[保育者に勝る天職はなし]保育者としての経験を活かし、リアルな子ども達の魅力を紹介します。保育士という職業の素晴らしさを感じられるはずです。										
回	授 業 計 画							自主学习（授業前・授業後）			
1	保育の道へようこそ...大歓迎いたします							授業前・夢を語れるように			
2	保育者になるという事							授業後・オリジナルノート作成			
3	魅力的な保育者とは							授業後・オリジナルノート作成			
4	保育者の一日							授業後・オリジナルノート作成			
5	子どもの思いや育ちを理解する							授業後・オリジナルノート作成			
6	3歳以上児の関わり							授業後・オリジナルノート作成			
7	3歳未満児の関わり							授業後・オリジナルノート作成			
8	保育に絵本を...実技・絵本の読み聞かせ							授業後・オリジナルノート作成			
9	「豊かな生活」をつくり出す保育者							授業後・オリジナルノート作成			
10	子育て支援（保護者支援）							授業後・オリジナルノート作成			
11	子育て支援（地域における）							授業後・オリジナルノート作成			
12	学び合う保育者							授業後・オリジナルノート作成			
13	保育者の成長と同僚関係							授業後・オリジナルノート作成			
14	保育者の専門性							授業後・オリジナルノート作成			
15	目指す保育者像							授業後・オリジナルノート作成			
テキスト	編著・汐見稔幸・大豆生田啓友「第2版」『 保育者論 』ミネルヴァ書房										
参考書・資料等	必要に応じて配布します。										
評価方法	ノート評価（50%）レポート課題（50%）の合計点を最終評価とします。										
履修上の注意等	新聞・ニュース等に日頃から関心を持ち課題意識を持つ。										

科目番号	2234	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	江莉川 淳子		
科目名	保育の計画と評価										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 子どもの理解に基づき、全体的な計画や教育課程の指導計画の作成について、その意義や具体的な方法について理解する。保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画と評価について理解をする。</p> <p>テーマ 全体的な計画や教育課程の指導計画は保育実践において柱となっていることを理解し、子どもにふさわしい生活が展開されるような指導計画について考えていく。</p>										
授業の概要	指導計画についての基本や実際の保育における計画、実践、記録、省察・評価、改善の過程の大切さを学び、全体的な計画・教育課程と指導計画の作成について具体的に理解する。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	保育の基本について 保育の遊びや環境・10の姿について学ぶ							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。			
2	教育課程・全体的な計画と指導計画について理解する							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。			
3	幼稚園の理解 幼稚園の基本と幼稚園における教育課程と指導計画の実際について理解する							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。			
4	保育所の理解 保育所の基本と保育所における全体的な計画と指導計画の実際について理解する							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。			
5	指導計画の作成の基本とその方法 指導計画の形式や手順、作成方法「子どもの姿」について学び、作成する							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。			
6	指導計画の作成の基本とその方法 指導計画の作成方法「ねらい」「内容」について学び、作成する							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。			
7	指導計画の作成の基本とその方法 指導計画の作成方法「環境構成」「予想される子どもの姿」について学び、作成する							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。			
8	指導計画の作成の基本とその方法 指導計画の作成方法「保育者の援助」について学び、作成する							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。5歳児の運動遊びについて調べてくる。			
9	部分案の作成 乳児、1,2歳児の発達の特徴を捉え、子ども達の姿から部分案(2歳児小麦粉粘土遊び)を作成する							テキストを事前に読んでくる。講義後、部分案を提出する。3歳児の製作あそびについて調べ、製作に必要なものを準備する。			
10	部分案の作成 3歳児の発達の特徴を捉え、子ども達の姿から部分案(3歳児製作遊び)の作成や製作物を作成する							テキストを事前に読んでくる。講義後、部分案と製作物を提出する。4歳児の6月に歌われる歌や音楽遊びについて調べてくる。			
11	部分案の作成 4歳児の発達の特徴を捉え、子ども達の姿の様子から部分案(4歳児音楽遊び)を作成する							テキストを事前に読んでくる。講義後、部分案を提出する。5歳児の運動遊びについて調べてくる。			
12	部分案の作成 5歳児の発達の特徴を捉え、子ども達の姿の様子から部分案(5歳児運動遊び)を作成する							テキストを事前に読んでくる。講義後、部分案を提出する。3歳児9月の週案を調べてくる。			
13	週案作成 3歳児9月の月案を基に週案(3歳児9月第2週)を作成する グループ討議をし週案を完成させる							講義後、グループで作成した週案を提出する。			
14	週案作成 作成した週案についてグループ発表をする							講義後、課題を提出する。			
15	保育の実践と評価 保育の評価、指導計画と教育課程・全体的な計画の評価、要録の理解について学ぶ							テキストを事前に読んでくる。講義後これまでの復習を行い指導計画の重要性について理解する。			
テキスト	「教育課程・保育の計画と評価 書いて学べる指導計画」岩崎淳子・及川留美・粕谷巨正著 萌文書林										
参考書・資料等	「0～5歳児指導計画の書き方がよくわかる本」佐藤暁子・川原佐公・月刊保育とカリキュラム編集委員編著 ひかりのくに										
評価方法	提出された部分案(30%)・週案(20%)と定期試験(50%)の総合評価とする。 試験は定期試験期間内に実施する。										
履修上の注意等	自分でも様々な指導計画を調べ、多方向から保育における計画の意味を考えていけるようにすることが望ましい。										

科目番号	2235	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	松宮ゆり	
科目名	乳児保育(2)									
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス ト	実務経験
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター	
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 ・3歳未満児の発育、発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 ・養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について ・乳児保育における配慮の実際、並びに保育計画の作成に具体的に理解する。</p> <p>テーマ 子どもたちの健やかな未来のために、乳児保育の大切さを認識する。</p>									
授業の概要	<p>・乳児保育の基本 ・乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際 ・乳児保育における配慮の実際 ・乳児保育における計画の実際</p>									
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）		
1	(1) ガイダンス・乳児保育の現状と課題 ・乳児保育実践、保護者の就労と保育の場、人間形成の視点から							シラバスに目を通す		
2	(2) 6か月未満の子どもの育ちと保育内容 1 ・0～3か月、4～6か月未満の育ちと保育							自分の1歳未満の写真を探し 成長の過程を分析する		
3	(3) 6か月未満の子どもの育ちと保育内容 2 ・睡眠・栄養摂取～授乳栄養・排泄・衣服や着替え・安全・遊び							衣服のたたみ方を考え工夫する		
4	(4) 6か月以上1歳未満の子どもの育ちと保育内容 1 ・マザリズの特徴 ・6～9か月、10か月～1歳未満の育ちと保育							自分が育った環境で方言の一語 二語文があるか探し、列挙する		
5	(5) 6か月以上1歳未満の子どもの育ちと保育内容 2 ・睡眠と排泄・離乳の開始・衣服と着替え・安全・遊び							1歳未満の子供と一緒に楽しく 遊べる、ふれ合い遊びを考える		
6	(6) 1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容 1 ・1歳～1歳6か月未満、1歳6か月～2歳未満の子どもの育ちと保育							自分の1歳～2歳の体重・身長と 出生時との比率を調べる		
7	(7) 1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容 2 ・睡眠・食事・排泄・トイレトレーニング・着替え・安全・遊び							かみつきをした子どもへの適切な 対応をイメージしてみる		
8	(8) 2歳～3歳の子どもの育ちと保育内容 1 ・2歳～2歳6か月未満・2歳6か月～3歳未満・3歳の子どもの育ちと保育							自分の2歳～3歳の体重・身長と 出生時との比率を調べる		
9	(9) 2歳～3歳の子どもの育ちと保育内容 2 ・睡眠・食事・排泄・着替え・安全・遊び							家族それぞれの平均的な 睡眠時間を調べる（年齢と時間）		
10	(10) 乳児保育における指導計画 ・保育の計画とは何か・乳児保育における指導計画の特徴・デイリ-プログラム							0・1・2歳児の発達の確認をする		
11	(11) 観察・記録及び自己評価 ・観察・記録のポイント・自己評価							自己評価の目的を考える		
12	(12) 子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境 1 ・子どもにとって魅力ある環境とは・環境としての人							「魅力ある環境構成」を考える		
13	(13) 子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境 2 ・遊びのアイデア・導入、持続							遊びの導入方法、手遊びと歌遊び を計画する		
14	(14) 集団での生活における配慮 ・集団のなかの「一人ひとり」を、また個に振り回されない「集団」を大事にする							遊びの演習を自己評価をする		
15	(15) 環境の変化や移行に対する配慮 ・新しい部屋、保育者・友だちに慣れる、進級のプレッシャーを与えない配慮							禁止事項を子どもたちに理解 してもらう話し方を工夫をする		
テキスト	<p>「乳児保育演習ブック」 松本 峰雄 監修 池田 りな他 著・ミネルヴァ書房 「マザリ-ズの理論と実践」 内山 伊知郎 監修 児玉 珠美、上野 萌子 編著・北大路書房</p>									
参考書・資料等	「保育所保育指針 解説書」 厚生労働省編									
評価方法	定期試験 70%、授業内活動 20%、確認プリント 10% を総合評価。試験は定期試験期間内に実施。									
履修上の注意等	演習時は運動着にエプロン（名札付き）を着用、整髪で臨む。確認プリントで理解を深める。									

科目番号	2236	単位	4	授業形態	実習	開講時期	集中	担当	保育士課程委員会	
科目名	保育実習(1)									
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験
			保育士	○	幼稚園 教諭		ベビー シッター	○	食育インス トラクター	
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 授業で学んだ知識や技術を基礎とし、観察・参加実習を通して 保育所の役割と機能 観察や子どもとの関わりを通しての子ども理解 子どもの保育及び保護者への支援 保育の計画、観察、記録及び自己評価 保育士の役割と職業倫理などを具体的に理解する。</p> <p>テーマ 子ども理解を深めながら、保育所の機能や保育士の役割について具体的に学ぶ。</p>									
授業の概要	<p>保育現場において、授業で学んだ専門知識や技能を総合的に実践し、子どもとのふれあいを通じて保育士の職業を体験的に学習する。</p>									
回	授 業 計 画								自主学習（授業前・授業後）	
1	【保育所実習】2単位									
2	○実習期間：令和2年9月16日～9月25日（7日間）									
3	○実習施設：履修者の希望を基に実習先を決定する。									
4	○実習形態： 観察実習 参加実習を中心に実施する。									
5	観察実習 子どもの保育の基礎的、全般的な状況の把握									
6	参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加									
7	○実習内容									
8	1．保育所の役割と機能									
9	(1) 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり									
10	(2) 保育所保育指針に基づく保育の展開									
11	2．子ども理解									
12	(1) 子どもの観察とその記録による理解 (2) 子どもの発達過程の理解									
13	(3) 子どもへの援助や関わり									
14	3．保育内容・保育環境									
15	(1) 保育の計画に基づく保育内容 (2) 子どもの発達過程に応じた保育内容									
16	(3) 子どもの生活や遊びと保育環境 (4) 子どもの健康と安全									
17	4．保育の計画・観察・記録									
18	(1) 全体的な計画と指導計画及び評価の理解 (2) 記録に基づく省察・自己評価									
19	5．専門職としての保育士の役割と職業倫理									
20	(1) 保育士の業務内容 (2) 職員間の役割分担や連携・協働									
21	(3) 保育士の役割と職業倫理									
22	実習期間中に保育士課程委員会の委員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言をする。									
23										
24										
25										
テキスト	「幼稚園・保育所実習の手引き」 東北女子短期大学 教職課程委員会・保育士課程委員会編									
参考書・資料等	保育所保育指針、必要に応じて資料を配付する。									
評価方法	実習先からの評価（60％）実習日誌の内容評価（40％）									
履修上の注意等	実習の意義・目的・内容を十分に理解したうえで、事前準備をしっかりと整えて実習に臨むこと。									

科目番号	2236	単位	4	授業形態	実習	開講時期	集中	担当	保育士課程委員会	
科目名	保育実習(1)									
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験
			保育士	○	幼稚園 教諭		ベビー シッター	○	食育インス トラクター	
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 授業で学んだ知識や技術を基礎とし、参加実習を通して、児童福祉施設問うの役割や機能 観察や子どもとの関わりを通しての子ども理解 子どもの保育及び保護者への支援 保育の計画、観察、記録及び自己評価 保育士の役割と職業倫理などを具体的に理解する。</p> <p>テーマ 子ども理解を深めながら、施設の機能や保育士の役割について具体的に学ぶ。</p>									
授業の概要	<p>授業で学んだ専門知識や技能を総合的に実践し、子どもとのふれあいを通じて施設における保育士の職業を体験的に学習する。</p>									
回	授 業 計 画								自主学習（授業前・授業後）	
1	【施設実習】2単位									
2	○実習期間：2月～3月（10日間 90時間）									
3	○実習施設：履修者の希望を基に配属先を決定する。									
4	○実習形態：参加実習を中心に実施する。									
5	○実習内容									
6	1．施設の役割と機能									
7	(1) 施設における子どもの生活と保育士の援助や関わり (2) 施設の役割と機能									
8	2．子ども理解									
9	(1) 子どもの観察とその記録 (2) 個々の状態に応じた援助や関わり									
10	3．施設における子どもの生活と環境									
11	(1) 計画に基づく活動や援助 (2) 子どもの心身の状態に応じた生活と対応									
12	(3) 子どもの活動と環境 (4) 健康管理、安全対策の理解									
13	4．計画と記録									
14	(1) 支援計画の理解と活用 (2) 記録に基づく省察・自己評価									
15	5．専門職としての保育士の役割と倫理									
16	(1) 保育士の業務内容 (2) 職員間の役割分担や連携									
17	(3) 保育士の役割と職業倫理									
18	実習期間中に保育士課程委員会の委員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言をする。									
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
テキスト	「幼稚園・保育所実習の手引き」 東北女子短期大学 教職課程委員会・保育士課程委員会編									
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。									
評価方法	実習先からの評価（60％）実習日誌の内容評価（40％）									
履修上の注意等	実習の意義・目的・内容を十分に理解したうえで、事前準備をしっかり整えて実習に臨むこと。									

科目番号	2237	単位	2	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	江莉川 淳子		
科目名	保育実習指導(1)										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 保育実習の意義・目的・内容・方法について理解する。実習記録や指導案作成の意義・方法を理解し、実際に作成することができる。実習施設の概要について説明できる。</p> <p>テーマ 保育所をはじめとする福祉施設の理解と保育士の役割の考察～保育実習の準備とふり回り</p>										
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習を進めていくために、保育所実習及び施設実習の意義・目的・内容・方法について理解する。 ・事前指導として保育実習の知識や技術を習得するための講義と演習を行う。 ・事後指導として実習のふり回り、自身の課題と改善点を明確に評価する。 										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	実習の意義・目的・内容・方法 実習の意義・目的・内容・方法とあわせて本学の実習概要を説明し、実習を迎える準備をする							復習を行い、保育観察実習の実習先を検討すること			
2	実習の意義・目的・内容・方法 実習の具体的な内容や段階を詳しく説明し、実習に対する意識を明確にする							配付したプリントによる復習をすること			
3	保育所実習 保育所の意義・役割について説明する							配付したプリントによる復習をすること			
4	保育所実習 保育所と幼稚園、認定子ども園のそれぞれの意義・役割を説明する							配付したプリントによる復習をすること			
5	保育所実習 保育所の一日の生活(デイリー・プログラム)や保育士の役割・仕事内容を説明する							配付したプリントによる復習をすること			
6	実習に必要な書類の作成について説明する							ノートの整理を行い、提出すること 二日間実習の感想を提出すること			
7	施設実習 施設の意義・役割について理解する							配付したプリントによる復習をすること			
8	施設実習 施設実習における役割を理解した上で、個々の実習配属先を具体的に検討する							施設実習の実習先を検討すること 配付したプリントによる復習をすること			
9	実習生としての心構え 子ども理解の重要性を認識させ、その目的と方法を説明する 絵本の読み聞かせをする							絵本を1冊用意し、読む練習をして くこと 配付したプリントによる 復習をすること			
10	実習生としての心構え 実習先の特色を理解し、実習に向けての具体的な準備と課題意識を明確にする 紙芝居の読み聞かせをする							用意した紙芝居の読む練習をして くこと 保育観察実習の実習先 を確認すること			
11	観察方法と実習記録 実習での観察方法やポイントを具体的に説明する							講義の復習をし、課題を提出する こと 実習カードを提出すること			
12	観察方法と実習記録 実習記録の意義を踏まえ、記録内容や方法を説明する							講義の復習をし、課題を提出する こと 教育実習の配属先を検討する こと			
13	観察方法と実習記録 実習記録の記述に関する留意事項を挙げ、実際の記録に適用できるよう解説する							講義の復習をし、課題を提出する こと			
14	実習中に必要な留意点を確認する 実習にあたっての自己紹介の作成をする							ノートの整理を行い、提出する こと 日誌の書き方を復習し、課題 を提出すること			
15	実習をふり回り、自己評価および課題を明確にする必要性を認識する 自己紹介の発表をする							実習の手引きを復習すること			
テキスト	なし										
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する										
評価方法	提出物・ノート(40%)・レポート課題等(60%)を総合して評価する										
履修上の注意等	他の講義内容と関連させながら、実習に対する知識と理解を深めること										

科目番号	2240	単位	2	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	佐々木典彰		
科目名	言葉										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	到達目標 子どもの発達における言葉の重要性を理解し、保育者として具体的な工夫や配慮事項を述べるができる。 テーマ 領域「言葉」に関する基礎										
授業の概要	幼稚園教育要領における領域「言葉」のねらい・内容について、関連する研究や実践的な言葉がけの例にふれながら学ぶ。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	「言葉」とは							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
2	言葉の発達							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
3	子どもの言葉の特徴							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
4	幼稚園教育要領における「言葉」とは							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
5	子どもに伝わる言葉と伝わらない言葉							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
6	子どもにプラスの言葉とマイナスの言葉							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
7	非言語的コミュニケーション							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
8	子どもの言葉を引き出す言葉がけ(インリアルアプローチ)							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
9	ベテラン保育者ならではの言葉がけ							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
10	言葉がけのひと工夫(オノマトペ)							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
11	この場面であなたならどのような言葉がけをする？							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
12	保護者支援のための言葉 情報機器の活用を含む							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
13	保育者間の良好な人間関係のための言葉							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
14	親子間の言葉の現状と課題							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
15	振り返りとまとめ							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
テキスト	なし。随時プリント配布等をする。										
参考書・資料等	保育所保育指針（平成29年3月告示）										
評価方法	定期試験により評価する。										
履修上の注意等											

科目番号	2241	科目名	子どもと造形	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	岩井康頼
課程	卒業必修	栄養士		医療		ビジネス		保育士		幼稚園教諭	
到達目標及びテーマ	<p>「あそび」という体験は日常から造形へつながる手段と捉え子どもの感性やイメージする育成など、成長に不可欠な「学び」が含まれている。幼児と共に感じ活動できる能力を涵養するための理解や援助に必要な基礎的知識を習得する。</p> <p>「あそび」と「造形」をテーマとし、表現の魅力を体験する。</p>										
授業の概要	<p>幼児の造形活動において環境を設定し素材・材料を整えどのように展開するのか、保育者が造形指導の鍵となり適切な支援が重視される。教材である「ドロあそび」等の視聴覚教材により造形活動について分析をする。</p>										
回											自主学习（授業前・授業後）
1	「造形活動」の意味と本質についての概要。「あそび」と表現の狙いと内容										教材「ドロあそび」ムービー等
2	「表現の多様性」と身体言語を使ったワークショップ										コミュニケーションは身体言語から
3	「かけ絵あそび」「ドロあそび」等、基本的で本質的「素材」への興味について										「あそび」と造形
4	身近な素材による教材研究（集）	フロッタージュ（擦り出し）	共同で学園内より採取							目（視覚）と手（触覚）	
5	身近な素材による教材研究 現・構成	フロッタージュ（擦り出し）	コラーージュによる表							テクスチャール（風合い、肌触り）	
6	身近な素材による教材研究	アッサンブラージュ（寄せ集め）	完成							触覚と美術を通じて人にとって何が	
7	美術鑑賞ACOP(Art Communication Project) 対話型鑑賞										ブリーズ・タッチ・ミュージアム
8	身近な素材による教材研究	「モノプリント」	「絵」が「版画」になる							うつす可能性あるものすべて版画	
9	身近な素材による教材研究 う」	「モノプリント」	「世界に1点しかない版画を作る							樹脂板に描画	
10	美術鑑賞ACOP(Art Communication Project) 対話型鑑賞										導入実技編
11	身近な素材による教材研究 （アイデア）	スチレンボード版画	共同制作によるコンセプト							スチレンボード・ローラー・バレン	
12	身近な素材による教材研究 夫」	スチレンボード版画	共同制作による「描画材の工							教材研究	
13	身近な素材による教材研究	スチレンボード版画	共同による「刷り」							試し刷りから加筆と修正	
14	身近な素材による教材研究	スチレンボード版画	完成							左右反転	
15	美術鑑賞ACOP(Art Communication Project) 対話型鑑賞 まとめ：レポート										あそびの中から感覚を豊かに
テキスト	『どう見える？生きる跡 アート』岩井康頼監修、弘前大学出版会										
参考書・資料等	厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館、文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館										
評価方法	提出物（40%）・授業内活動（30%）、レポート（30%）										
履修上の注意等	衣服が汚れる場合もあります、トレーニングウェア、エプロン着用での受講可										